



取扱説明書

製品名称

デジタル圧カスイッチ

型式 / シリーズ / 品番

ZSE20B (F)

ISE20B

SMC株式会社

目次

安全上のご注意	3
型式表示・品番体系	9
製品各部の名称とはたらき	12
用語説明	13
取付け・設置	17
設置方法	17
配管方法	20
配線方法	23
設定の概要[測定モード]	30
圧力の設定	31
3ステップ設定モード	32
簡易設定モード	34
ファンクション選択モード	36
ファンクション選択モードとは	36
工場出荷時の設定	36
F0 単位切換機能	38
F1 OUT1 の設定	39
F2 OUT2 の設定	42
F3 デジタルフィルタの設定	44
F4 オートプリセット機能の設定	45
F5 FUNC 端子の設定	47
F6 表示値微調整の設定	49
F10 サブ画面の設定	50
F11 表示分解能の設定	56
F80 省電力モードの設定	57
F81 暗証番号の入力の設定	58
F82 ライン名入力設定	60
F90 全ファンクションの設定	61
F96 入力信号確認	63
F97 コピー機能の選択	64
F98 出力確認	66
F99 出荷状態への復帰	68
その他の設定	69
保守	73
暗証番号を忘れた場合	73
トラブルシューティング	74
仕様	83
仕様表	83
外形寸法図	86



安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。これらの事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「注意」「警告」「危険」の三つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですから、国際規格（ISO/IEC）、日本産業規格（JIS）^{※1)} およびその他の安全法規^{※2)} に加えて、必ず守ってください。

※1) ISO 4414: Pneumatic fluid power -- General rules and safety requirements for system and their components

ISO 4413: Hydraulic fluid power -- General rules and safety requirements for system and their components

IEC 60204-1: Safety of machinery -- Electrical equipment of machines (Part 1: General requirements)

ISO 10218-1: Robots and robotic devices - Safety requirements for industrial robots - Part 1: Robots

JIS B 8370: 空気圧-システム及びその機器の一般規則及び安全要求事項

JIS B 8361: 油圧-システム及びその機器の一般規則及び安全要求事項

JIS B 9960-1: 機械類の安全性 - 機械の電気装置 (第1部: 一般要求事項)

JIS B 8433-1: ロボット及びロボティックデバイス—産業用ロボットのための安全要求事項-第1部: ロボット

※2) 労働安全衛生法 など



危険

切迫した危険の状態、回避しないと死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。



警告

取扱いを誤った時に、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。



注意

取扱いを誤った時に、人が傷害を負う危険が想定される時、および物的損害のみの発生が想定されるもの。

警告

- ① 当社製品の適合性の決定は、システムの設計者または仕様を決定する人が判断してください。
ここに掲載されている製品は、使用される条件が多様なため、そのシステムへの適合性の決定は、システムの設計者または仕様を決定する人が、必要に応じて分析やテストを行ってから決定してください。このシステムの所期の性能、安全性の保証は、システムの適合性を決定した人の責任になります。常に最新の製品カタログや資料により、仕様の全ての内容を検討し、機器の故障の可能性についての状況を考慮してシステムを構成してください。
- ② 当社製品は、十分な知識と経験を持った人が取扱ってください。
ここに掲載されている製品は、取扱いを誤ると安全性が損なわれます。
機械・装置の組立てや操作、メンテナンスなどは十分な知識と経験を持った人が行ってください。
- ③ 安全を確認するまでは、機械・装置の取扱い、機器の取外しを絶対に行わないでください。
 1. 機械・装置の点検や整備は、被駆動物体の落下防止処置や暴走防止処置などがなされていることを確認してから行ってください。
 2. 製品を取外す時は、上記の安全処置がとられていることの確認を行い、エネルギー源と該当する設備の電源を遮断するなど、システムの安全を確保すると共に、使用機器の製品個別注意事項を参照、理解してから行ってください。
 3. 機械・装置を再起動する場合は、予想外の動作・誤動作が発生しても対処できるようにしてください。
- ④ 当社製品は、製品固有の仕様外での使用はできません。次に示すような条件や環境で使用するには開発・設計・製造されておりませんので、適用外とさせていただきます。
 1. 明記されている仕様以外の条件や環境、屋外や直射日光が当たる場所での使用。
 2. 原子力、鉄道、航空、宇宙機器、船舶、車両、軍用、生命および人体や財産に影響を及ぼす機器、燃焼装置、娯楽機器、緊急遮断回路、プレス用クラッチ・ブレーキ回路、安全機器などへの使用、およびカタログ、取扱説明書などの標準仕様に合わない用途の使用。
 3. インターロック回路に使用する場合。ただし、故障に備えて機械式の保護機能を設けるなどの2重インターロック方式による使用を除く。また定期的に点検し正常に動作していることの確認を行ってください。



安全上のご注意

⚠️注意

当社の製品は、自動制御機器用製品として、開発・設計・製造しており、平和利用の製造業向けとして提供しています。製造業以外でのご使用については、適用外となります。

当社が製造、販売している製品は、計量法で定められた取引もしくは証明などを目的とした用途では使用できません。

新計量法により、日本国内でSI単位以外を使用することはできません。

保証および免責事項/適合用途の条件

製品をご使用いただく際、以下の「保証および免責事項」、「適合用途の条件」を適用させていただきます。下記内容をご確認いただき、ご承諾のうえ当社製品をご使用ください。

『保証および免責事項』

- ①当社製品についての保証期間は、使用開始から1年以内、もしくは納入後1.5年以内、いずれか早期に到達する期間です。^{*3)}
また製品には、耐久回数、走行距離、交換部品などを定めているものがありますので、当社最寄りの営業拠点にご確認ください。
- ②保証期間中において当社の責による故障や損傷が明らかになった場合には、代替品または必要な交換部品の提供を行わせていただきます。なお、ここでの保証は、当社製品単体の保証を意味するもので、当社製品の故障により誘発される損害は、保証の対象範囲から除外します。
- ③その他製品個別の保証および免責事項も参照、ご理解の上、ご使用ください。

※3) 真空パッドは、使用開始から1年以内の保証期間を適用できません。



真空パッドは消耗部品であり、製品保証期間は納入後1年です。

ただし、保証期間内であっても、真空パッドを使用したことによる摩耗、またはゴム材質の劣化が原因の場合には、製品保証の適用範囲外となります。

『適合用途の条件』

海外へ輸出される場合には、経済産業省が定める法令(外国為替および外国貿易法)、手続きを必ず守ってください。







■ 図記号の説明

図記号	図記号の意味
	禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



■ 取扱い者について

- ① この取扱説明書は、空気圧機器を使用した機械・装置の組立・操作・保守点検するかたで、これらの機器に対して十分な知識と経験をお持ちのかたを対象にしています。
組立・操作・保守点検の実施は、このかたに限定させていただきます。
- ② 組立・操作・保守点検に当っては、この本書をよく読んで内容を理解した上で実施してください。

■ 安全上のご注意

 警告	
 分解禁止	■ 分解・改造(基板の組み替え含む)・修理は行わないこと けが、故障の恐れがあります。
 禁止	■ 仕様範囲を超えて使用しないこと 引火性もしくは人体に影響のあるガス・流体には使用しないでください。 仕様範囲を超えて使用すると、火災・誤動作・圧カスイッチ破損の原因となります。 仕様を確認の上、ご使用ください。
 禁止	■ 可燃性ガス・爆発性ガスの雰囲気では使用しないこと 火災・爆発の恐れがあります。 この圧カスイッチは、防爆構造ではありません。
 禁止	■ 静電気の帯電が問題になる場所には使用しないこと システム不良や故障の原因になります。
 指示	■ インターロック回路に使用する場合は ・別系統による(機械式の保護機能など)多重のインターロックを設けること ・正常に動作していることの点検を実施すること 誤動作による、事故の恐れがあります。
 指示	■ 保守点検をするときは ・供給電源をオフにすること ・供給しているエアを止めて、配管中の圧縮空気を排気し、大気開放状態を確認してから実施すること けがの恐れがあります。

⚠ 注意


 接触禁止	<p>■ 通電中は端子、コネクタに触らないこと 通電中に端子やコネクタに触ると、感電・誤動作・スイッチ破損の恐れがあります。</p>
 指示	<p>■ 保守点検完了後に適正な機能検査、漏れ検査を実施すること 正常に機器が動作しない、漏れがあるなどの異常の場合は運転を停止してください。 配管部以外からの漏れが発生した場合、圧力センサが破損している場合があります。 電源を切断し流体の供給を停止してください。 漏れがある状態で絶対に流体を印加しないでください。 意図しない誤操作により、安全が確保できなくなる可能性があります。</p>

■ 取扱い上のお願い

○ 圧カスイッチの選定・取扱いに当って、下記内容を守ってください。

● 選定に関して（以下の取扱いに関する取付け・配線・使用環境・調整・使用・保守点検の内容も守ってください。）

* 製品仕様などに関して

- ・ 組み合わせる直流電源は、以下の UL 認定品をご使用ください。
UL1310 に従うクラス 2 電源ユニット、または UL1585 に従うクラス 2 トランスを電源とする最大 30 Vrms (42.4 V ピーク) 以下の回路 (クラス 2 回路)
- ・ 製品本体および銘板に  マークのある場合のみ、UL 認定品となります。
- ・ 規定の電圧でご使用ください。
規定以外の電圧で使用すると故障・誤動作の恐れがあります。
- ・ 最大負荷電圧および電流を超える負荷は、使用しないでください。
圧カスイッチが破損したり、圧カスイッチの寿命が短くなったりする恐れがあります。
- ・ 断線が発生した際や、動作確認のために強制動作させる際に、逆流電流が流れ込まないように設計をしてください。
逆流電流が発生した際に、スイッチが誤動作もしくは破損する可能性があります。
- ・ 圧カスイッチへの入力データは、電源を遮断しても消えません。
(書き込み回数：1 万回、データ保持期間：20 年)
- ・ 清浄な空気をご使用ください。
動作不良の原因となります。
ドレンを含んだ空気を使用する場合は、エアドライヤ・ドレンキャッチをフィルタの前に取付け、ドレン抜き管理を実施してください。
ドレン抜き管理が悪くドレンが二次側に流出すると、空気圧機器の動作不良の原因となります。
ドレン抜き管理が困難な場合は、オートドレン付きフィルタのご使用をお勧めします。
- ・ 使用可能流体は空気、非腐食性ガス、不燃性ガスです。
使用流体に化学薬品、有機溶剤を含有する合成油、塩分、腐食性ガスなどを含まないこと。
これらが混入していると、圧カスイッチの破損や動作不良の原因となります。
詳細は仕様を確認してからご使用ください。
- ・ 規定の使用圧力でご使用ください。
圧カスイッチが破損し、正常な計測ができない恐れがあります。
- ・ 保守スペースを確保してください。
保守点検に必要なスペースを考慮した設計をしてください。

●取扱いに関して

*取付け

- ・締付トルクを守ってください。
締付トルク範囲を越えて締付けると、取付ねじ、取付金具、圧カスイッチなどが破損する可能性があります。
また、締付トルク範囲未満で締付けた場合、圧カスイッチ取付位置のズレおよび接続ねじ部の緩みが生じる可能性があります。
- ・パネルマウントアダプタによる装着の場合は、圧カスイッチに無理な応力を掛けないでください。
圧カスイッチの破損やパネルマウントから脱落の恐れがあります。
- ・市販のスイッチング電源を使用する場合は、FG 端子を接地してください。
- ・落としたり、打ち当てたり、衝撃を加えないでください。
圧カスイッチ内部が破損し誤動作する可能性があります。
- ・リード線を強く引っ張ったり、リード線を摘んで本体を持ち上げたりしない。(引っ張り強度 35 N 以内)
取扱いの際は、ボディを持ってください。
圧カスイッチが破損し、故障、誤動作の原因となります。
- ・圧カスイッチの配管の際は、配管部と一体の金属部分(配管するアタッチメント)にスパナを掛けて行ってください。
他の部分にスパナを掛けると、圧カスイッチ破損の恐れがあります。
- ・配管内に残っているゴミなどをエアブローで除去してから、圧カスイッチを配管してください。
故障、誤動作の原因となります。
- ・圧カポートに針金などを入れないでください。
圧カセンサが破損して、故障、誤動作の原因となります。
- ・圧カスイッチは足場になる個所には取付けしないでください。
誤って乗ったり、足を掛けることにより過大な荷重が加わると、破損することがあります。
- ・流体に異物混入の恐れがある場合は、1 次側(流入側)にフィルタやミストセパレータを設置・配管してください。
故障、誤動作の原因となります。また正確な計測ができなくなります。

*配線(コネクタの抜き差し含む)

- ・リード線を強く引っ張らないでください。特に継手や配管を組み込んだ場合、圧カスイッチのリード線で持ち運ばないでください。
圧カスイッチ内部が破損し誤動作したり、コネクタより脱落したりする可能性があります。
- ・リード線に繰返し曲げや引っ張り、重い物を載せたり、力が加わらないようにしてください。
リード線に繰返し曲げ応力および引張力が加わるような配線は、外被(シース)抜けの原因となります。
リード線が可動する場合は、リード線をスイッチ本体の近くで固定するようにしてください。
リード線の推奨曲げ半径は、シース外径の 6 倍または絶縁体外径の 33 倍のいずれか大きい値となります。
リード線が傷んだ場合は、リード線を交換してください。
- ・誤配線をしないでください。
誤配線の内容によっては、圧カスイッチが誤動作したり、破壊する可能性があります。
- ・配線作業を通電中に行わないでください。
圧カスイッチ内部が破損し誤動作する可能性があります。
- ・動力線や高圧線と同一配線経路で使用しないでください。
動力線・高圧線からの信号ラインのノイズ・サージの混入防止のため、圧カスイッチの配線と動力線・高圧線は、別配線(別配管)にしてください。
- ・配線の絶縁性をご確認ください。
絶縁不良(他の回路と混触、端子間の絶縁不良など)があると、圧カスイッチへの過大な電圧の印加または電流の流れ込みにより、圧カスイッチが破壊する可能性があります。
- ・動作確認のために強制動作をさせた際、逆流電流の流れ込みがないようにしてください。
ご使用回路によっては絶縁性が保たず逆流電流が流れ込み、スイッチが誤動作もしくは破損する可能性があります。
- ・配線は、ノイズ・サージの混入防止のため、できるだけ短くしてください。
最長でも 30 m 未満でご使用ください。
また、DC(-)線(青線)は、極力電源の近くに配線してください。
- ・アナログ出力を使用する場合は、ノイズフィルタ(ラインノイズフィルタ・フェライトなど)をスイッチング電源と本製品間に挿入してください。

*使用環境

- ・腐食性ガス、化学薬品、海水、水、水蒸気の雰囲気または付着する場所では使用しないでください。
故障、誤動作などが発生する可能性があります。

- ・油分・薬品環境下では、使用しないでください。
クーラント液や洗浄液など、種々の油並びに薬品の環境下でのご使用については、短期間でも圧カスイッチが悪影響(故障、誤動作、リード線の硬化など)を受ける場合があります。
- ・サージ発生源がある場所では使用しないでください。
圧カスイッチの付近に、大きなサージを発生させる装置機器(電磁式リフター・高周波誘導炉・モータなど)がある場合、圧カスイッチ内部回路素子の劣化または破壊を招く恐れがありますので、発生源のサージ対策を考慮いただくと共にラインの混触を避けてください。
- ・サージが発生する負荷は使用しないでください。
リレー・電磁弁などサージ電圧を発生する負荷を直接駆動する場合の負荷には、サージ吸収素子内蔵タイプの製品をご使用ください。
- ・CE/UKCA マーキングにおける、雷サージに対する耐性は有していませんので、装置側で雷サージ対策を実施してください。
- ・圧カスイッチは、振動、衝撃のない場所に取付けてください。
故障、誤動作の原因となります。
- ・製品内部に、配線クズなどの異物が入らないようにしてください。
故障、誤動作の原因となりますので、圧カスイッチ内部に、配線クズなどの異物が入らないようにしてください。
- ・温度サイクルが掛かる環境下では、使用しないでください。
通常の気温変化以外の温度サイクルが掛かるような場合は、圧カスイッチ内部に悪影響を及ぼす可能性があります。
- ・直射日光の当る場所では使用しないでください。
直射日光が当る場合は、日光を遮断してください。
故障、誤動作の原因となります。
- ・使用流体温度・周囲温度範囲を守ってご使用ください。
使用流体温度・周囲温度範囲は-5~50℃です。低温(5℃以下)で使用する場合は、空気中の水分の凍結により破損したり、誤動作したりする恐れがあります。
凍結防止の処置をしてください。ドレン・水分の除去にエアドライヤの設置を推奨します。
また、規定温度内でも、急激な温度変化は避けてください。
- ・周囲の熱源による、輻射熱を受ける場所で使用しないでください。
動作不良の原因となります。

*調整・使用

- ・負荷を接続してから、電源を投入してください。
圧カスイッチに負荷を接続しない状態で、ONさせると過電流が流れ、圧カスイッチが瞬時に破壊する可能性があります。
- ・負荷を短絡させないでください。
圧カスイッチの負荷が短絡するとエラー表示しますが、過電流が流れ、圧カスイッチが破損する可能性があります。
- ・各設定ボタンを先の尖ったもので押さないでください。
設定ボタン破損の原因となります。
- ・微小な圧力差を検出する場合は、10~15分のウォーミングアップを行ってください。
電源投入後10分間は、表示が1%変動する可能性があります。
- ・ご使用状況に合せた、適切な設定を行ってください。
不適切な設定になっていますと、動作不良の原因となります。
各種設定に関しては、本書 30~72 ページを参照ください。
- ・動作中に LCD 表示部には触れないでください。
表示が静電気などで変化する場合があります。

*保守点検

- ・保守点検は、供給電源を OFF にし、供給エアを止め、配管中の圧縮空気を排気して大気開放状態を確認してから行ってください。
構成機器の、意図しない誤動作の原因となります。
- ・保守点検を定期的実施してください。
機器・装置の誤動作により、意図しない構成機器の誤動作の可能性があります。
- ・ドレン抜きは定期的実施してください。
ドレンが二次側に流出すると、空気圧機器の動作不良の原因となります。
- ・スイッチの清掃は、ベンジンやシンナなどを使用しないでください。
表面に傷が付いたり、表示が消えたりする恐れがあります。
柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞ってから汚れを拭き取り、乾いた布で再度拭き取ってください。

型式表示・品番体系

ISE20B - X - M - M5 - □ □ □

圧力レンジ

	記号	内容
正圧用	ISE20B	-0.100~1.000 MPa
真空圧用	ZSE20B	0.0~-101.0 kPa
連成圧用	ZSE20BF	-100.0~100.0 kPa

出力仕様

記号	内容
X	NPNオープンコレクタ2出力 (コピー機能付)
Y	PNPオープンコレクタ2出力 (コピー機能付)
R	NPNオープンコレクタ2出力 +アナログ電圧 ^{※1}
T	PNPオープンコレクタ2出力 +アナログ電圧 ^{※1}
S	NPNオープンコレクタ2出力 +アナログ電流 ^{※1}
V	PNPオープンコレクタ2出力 +アナログ電流 ^{※1}

※1: オートシフト、コピーに切換可能

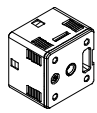
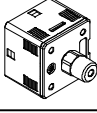
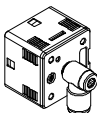
単位仕様

記号	内容
無記号	単位切換機能付
M	SI単位固定 ^{※3}
P	単位切換機能付(初期値psi) ^{※2}

※2: 新計量法により、日本国内で単位切換機能付を使用することはできません。単位銘板が付属します。

※3: 固定単位kPa、MPa

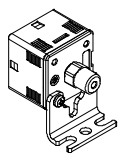
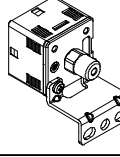
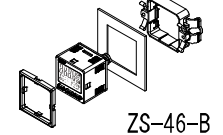
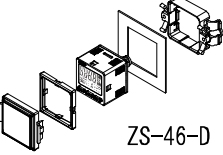
配管仕様

記号	内容	
M5	M5めねじ	
O1	R1/8	
N01	NPT1/8	
C4L	ワンタッチ管継手 φ4 mm	エルボタイプ
C6L	ワンタッチ管継手 φ6 mm	

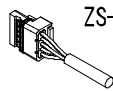
オプション3

記号	内容
無記号	取扱説明書付
Y	なし
K	取扱説明書、校正証明書付
T	校正証明書付

オプション2

記号	内容	
無記号	なし	
A1	ブラケットA (垂直取付)	 ZS-46-A1
A2	ブラケットB (水平取付)	 ZS-46-A2
B	パネル マウント アダプタ	 ZS-46-B
D	パネル マウント アダプタ +前面保護 カバー	 ZS-46-D

オプション1

記号	内容	
無記号	リード線なし	
W	コネクタ付リード線 (リード線長さ2 m、 防水)	 ZS-46-5F

ISE20B - X - M - M5 - S □ □

圧力レンジ

	記号	内容
正圧用	ISE20B	-0.100~1.000 MPa
真空圧用	ZSE20B	0.0~-101.0 kPa
連成圧用	ZSE20BF	-100.0~100.0 kPa

出力仕様

記号	内容
X	NPNオープンコレクタ2出力 (コピー機能付)
Y	PNPオープンコレクタ2出力 (コピー機能付)
R	NPNオープンコレクタ1出力 +アナログ電圧 ^{※1}
T	PNPオープンコレクタ1出力 +アナログ電圧 ^{※1}
S	NPNオープンコレクタ1出力 +アナログ電流 ^{※1}
V	PNPオープンコレクタ1出力 +アナログ電流 ^{※1}

※1: オートシフト、コピーに切換可能

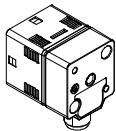
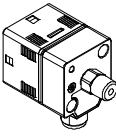
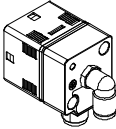
単位仕様

記号	内容
無記号	単位切換機能付
M	SI単位固定 ^{※3}
P	単位切換機能付(初期値psi) ^{※2}

※2: 新計量法により、日本国内で単位切換機能付を使用することはできません。単位銘板が付属します。

※3: 固定単位kPa、MPa

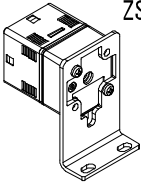
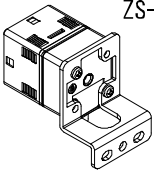
配管仕様

記号	内容	
M5	M5めねじ	
O1	R1/8	
N01	NPT1/8	
C4L	ワンタッチ管継手 φ4 mm	エルボタイプ
C6L	ワンタッチ管継手 φ6 mm	

オプション3

記号	内容
無記号	安全上のご注意付
Y	なし
K	安全上のご注意、校正証明書付
T	校正証明書付

オプション2

記号	内容	
無記号	なし	
A4	ブラケットD (垂直取付)	 ZS-46-A4
A5	ブラケットE (水平取付)	 ZS-46-A5

オプション1

記号	内容	
S	M12コネクタ タイプ ^{※4}	 M12コネクタ

※4: リード線はついていません。

○オプション/部品品番

オプションが単体で必要な場合は下記品番で手配してください。

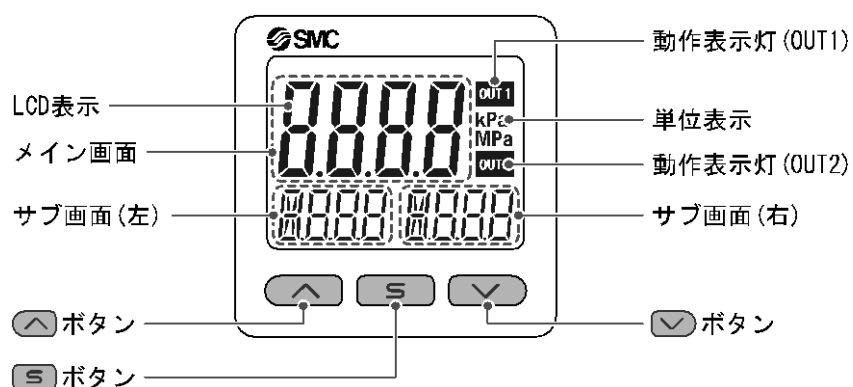
名称	品番	備考
ブラケット A	ZS-46-A1	タッピンねじ：呼び径 3×8L (2本) ※1
ブラケット B	ZS-46-A2	タッピンねじ：呼び径 3×8L (2本) ※1
ブラケット D	ZS-46-A4	タッピンねじ：呼び径 3×8L (2本) ※2
ブラケット E	ZS-46-A5	タッピンねじ：呼び径 3×8L (2本) ※2
パネルマウントアダプタ	ZS-46-B	- ※1
パネルマウントアダプタ+前面保護カバー	ZS-46-D	- ※1
コネクタ付リード線	ZS-46-5F	5 芯、2 m、防水 ※1
前面保護カバー	ZS-27-01	- ※1
R1/8 配管アダプタ	ZS-46-N1	-
NPT1/8 配管アダプタ	ZS-46-N2	-
ワンタッチ管継手φ4 mm エルボ	ZS-46-C4L	-
ワンタッチ管継手φ6 mm エルボ	ZS-46-C6L	-
M12 コネクタ付リード線(ストレート)	ZS-37-A	4 芯、3 m、防水 ※2
	ZS-31-B	4 芯、5 m、防水 ※2
M12 コネクタ付リード線(ライトアングル)	ZS-37-B	4 芯、3 m、防水 ※2
	ZS-31-C	4 芯、5 m、防水 ※2
M12 コネクタ付リード線 (両側コネクタ、ストレート)	EX9-AC005-SSPS	5 芯、0.5 m、防水 ※2
	EX9-AC010-SSPS	5 芯、1 m、防水 ※2
	EX9-AC020-SSPS	5 芯、2 m、防水 ※2
	EX9-AC030-SSPS	5 芯、3 m、防水 ※2
	EX9-AC050-SSPS	5 芯、5 m、防水 ※2

※1：オプション 1" S"には使用できません。

※2：オプション 1" S"専用の部品になります。

製品各部の名称とはたらき

○各部の名称



動作表示灯：スイッチの動作状況を表示します。

LCD表示：現在の圧力状態、設定モードの状態、選択された表示単位、エラーコードを表示します。

上段の画面は常に赤色または緑色の単色で表示するか、出力に連動して緑色から赤色または赤色から緑色に切替えるか、4種類の表示方法を選ぶことができます。

下段の画面は橙色単色表示となります。

▲ ボタン：モードおよび ON/OFF 設定値を増加させます。

▼ ボタン：モードおよび ON/OFF 設定値を減少させます。

■ ボタン：各モードの変更と設定値の確定に使用します。

単位表示：現在選択している単位を表示します。(表示単位が kPa、MPa の場合のみ)

用語説明

	用語	定義
D	digit (設定最小単位)	デジタル式圧カスイッチで圧力表示をする際に、どのくらいきめ細かく表示できるのか、あるいは設定ができるのかを示しています。1 digit=1 kPa の場合表示は 1, 2, 3, …, 99, 100 というように 1 kPa ずつ表示します。
F	F. S. (フルスパン、フルスケール)	フルスパンまたはフルスケールと読み、製品定格における最大変動幅のことです。例えば、定格圧力範囲が-0.100~1.000[MPa]のとき F. S.=1.000-(-0.100)=1.100[MPa]になります。 (参考：1%F. S.=1.100×0.01=0.011[MPa]になります。)
R	R. D.	現在表示している数値のことを言います。 例えば、表示値が 1.000[MPa]のとき±5%R. D. は 1.000[MPa]の±5%で±0.05[MPa]になり、0.800[MPa]のときの±5%R. D. は 0.800[MPa]の±5%で0.04[MPa]になります。
あ	圧力の設定	圧カスイッチがONまたはOFFする圧力を設定することです。
	アナログ出力(機能)	圧力に比例した電圧、または電流を出力する機能です。
	ウインドコンパレータモード	圧力がある一定の領域内にあるとき出力を保持する出力形式です。 (41 ページ「出力モードの一覧」参照)
	エラー出力	エラー表示しているときにスイッチ出力を ON または OFF に切替える機能です。動作状態については 41 ページ「出力モードの一覧」参照。 エラー表示内容については 82 ページ「エラー表示機能」参照。
	エラー表示	圧カスイッチが備えている自己診断機能により、スイッチの故障を発生させる可能性がある不適合が発生していることを示す表示のことです。 エラー表示内容については 82 ページ「エラー表示機能」参照。
	応差	圧カスイッチの ON 点と OFF 点の差のことをいいます。応差のことをヒステリシスともいいます。
	オートシフト	真空吸着等において、印加圧力の脈動によりスイッチ出力の動作が不安定な場合に印加圧力に合わせてスイッチ出力の設定値を補正する機能です。外部より信号を入力した際に、その時点での圧力値を基準値としスイッチ出力動作点をシフトさせます。
	オートプリセット	圧力の増減を検出することで、圧力設定を自動で行う機能です。 例えば、吸着確認においてこの機能を使用すると、ワークの吸着/開放を行うだけで圧力設定を行うことができます。
か	管接続口径	スイッチを測定対象と配管するために、スイッチ本体に付いている接続部の接続口径を表しています。
	キーロック(機能)	圧カスイッチの設定を変更できないようにする(ボタン操作を受け付けられないようにする)機能です。
	繰り返し精度	一定温度 25[°C]において、圧力が増減するとき、圧力表示、ON-OFF 出力動作点の再現性をいいます。
	コピー機能	圧力設定値、機能の設定(表示値微調整値、ライン名を除く)をコピーする機能のことです。
	コピー先圧カスイッチ	コピー機能使用時のコピー先の圧カスイッチのことです。
	コピー元圧カスイッチ	コピー機能使用時のコピー元の圧カスイッチのことです。

	用語	定義
さ	最大印加電圧	NPN 出力の出力部(出力線)に接続可能な印加電圧の最大値を示します。
	最大(最小) 負荷インピーダンス	アナログ電流出力の出力部(出力線)に接続可能な負荷(抵抗値、インピーダンス)の最大値(最小値)となります。
	最大負荷電流	スイッチ出力の出力部(出力線)に流すことのできる電流の最大値となります。
	残留電圧	スイッチ出力が ON 状態のときに、理想的な ON 出力電圧と実際の出力電圧の差のことです。流れる負荷電流により異なります。「0」になるのが理想です。
	出力インピーダンス	アナログ電圧出力の出力部にある電圧出力素子から出力線の間にある構成部品の抵抗値のことで、電圧出力素子に抵抗を直列接続している状態に置き換えた場合の抵抗値に換算して示します。この出力インピーダンスとお客様の接続機器の入カインピーダンスの大きさにより、出力電圧に誤差が生じることがあります。 (例：出力インピーダンス 1 kΩ の圧カスイッチを入カインピーダンス 1 MΩ の A/D 変換機に接続して 5 V のアナログ出力を検出しようとした場合、A/D 変換機の検出電圧は $5(V) \times 1(M\Omega) / (1(k\Omega) + 1(M\Omega)) \approx 4.995(V)$ となり約 0.005 V の誤差が発生することになります。)
	出力形態	スイッチ出力の作動原理を示します。正転出力と反転出力が選択できます。動作状態については 41 ページ「出力モードの一覧」参照。
	省電力モード	数値表示が消えて消費電流を低減します。
	スイッチ出力	ON-OFF 出力ともいいます。
	正転出力	スイッチ出力の出力形態の 1 つで、スイッチ出力設定値以上の圧力を検出したときにスイッチが ON する動作を指します。(ヒステリシスモード) ウィンドコンパレータモードではスイッチ出力設定値の間(P1L~P1H)の圧力を検出したときにスイッチが ON する動作を指します。 (41 ページ「出力モードの一覧」参照)
	接流体部(または接液部)	検出流体が圧カスイッチと触れる部分を指します。具体的には圧力センサ、シール部、継手部が該当します。
	絶縁抵抗	製品自体の絶縁抵抗値を示しています。電気回路と筐体間の抵抗をいいます。
	設定圧力範囲	スイッチ出力の設定可能な圧力範囲のことです。
	設定最小単位	"digit"参照。
	ゼロクリア(機能)	圧力表示を 0 に調整する機能です。
測定モード	圧力を検知し、表示やスイッチ動作をおこなっている状態をいいます。	

	用語	定義
た	耐圧力	これ以上の圧力を印加すると、破壊してしまう限界圧力値のことです。
	耐電圧	電気回路と筐体間に、電圧を加えたときの耐量をいいます。製品の電圧に対する強さを示しています。製品にこれ以上の電圧を加えると、破壊する危険があります。 (ここでいう電圧とは製品を動作させるための電源電圧と異なります。)
	単位切換機能	表示する圧力値の単位を変更します。単位切換機能がついた製品のみ変更することが可能です。単位切換機能付の製品は日本国内での使用を目的として購入することは出来ません。 日本国内ではSI 単位のみ表示となります。
	チャタリング	スイッチ出力が高周波でON、OFFを繰り返す現象のことです。
	チャタリング防止機能	チャタリングを防止するためにスイッチ出力の応答時間を遅くする機能です。
	定格圧力範囲	製品仕様を満足する圧力範囲のことです。 定格圧力範囲を超えた値でも設定表示範囲内であれば設定できますが仕様を保証するものではありません。
	ディレー時間	圧力スイッチに印加している圧力が設定値に達してから、実際にON-OFF出力が動作するまでの設定時間をいいます。ディレー時間の設定により、出力のチャタリングを防止することができます。
	デジタルフィルタ	圧力値の変動に対して、デジタルのフィルタを追加する機能です。この機能は、圧力の急激な立ち上がり/下がりに対して、表示値変動を緩やかにします。機能使用時は、スイッチ出力ON/OFFにもデジタルフィルタが反映されます。デジタルフィルタの設定により、出力のチャタリングや測定モードでの表示のちらつきを抑制することができます。 ステップ入力に対する90%応答の時間です。
	(アナログ)電圧出力	"アナログ出力(機能)"参照。
	(アナログ)電流出力	"アナログ出力(機能)"参照。
	動作表示灯	スイッチ出力がON状態のときに点灯するランプのことです。
	動作モード	ヒステリシスモード、ウインドコンパレータモード、エラー出力、出力オフを選択できます。

	用語	定義
は	反転出力	スイッチ出力の出力形態の1つで、スイッチ出力設定値以下の圧力を検出したときにスイッチがONする動作を指します。(ヒステリシスモード)ウインドコンパレータモードではスイッチ出力設定値の間(n1L~n1H)から外れた圧力を検出したときにスイッチがONする動作を指します。 (41 ページ「出力モードの一覧」参照)
	ヒステリシス	応差のことです。“応差”参照。
	ヒステリシスモード	41 ページ「出力モードの一覧」参照。
	表示色	デジタル表示の数字の色を指します。 常時緑、常時赤、緑(スイッチ OFF)→赤(スイッチ ON)、赤(スイッチ OFF)→緑(スイッチ ON)の4つから選択可能です。
	表示精度	表示される圧力値が真の圧力値とどれくらい誤差を持つかを示します。
	表示値微調整(機能)	表示している圧力値を±5%R. D. (表示している数値の±5%)の範囲で調整することができます。真の圧力値が分かっている場合や、圧カスイッチと同じ圧力を測定している周辺の測定器との表示値のズレを補正したいときに使用します。
	表示分解能	定格圧力範囲を何分割して表示できるかを示します。 (例：0~1 MPa 用で0.001 MPa 刻みで表示できる場合は、分解能は1/1000 となります。)
	微調整モード	“表示値微調整(機能)”参照。
	ピーク値表示(モード)	現在までの到達最高圧力値を表示します。
	ファンクション選択モード	各種機能の設定を行うモードのことで、圧力の設定とは別メニューとなっています。工場出荷時から設定を変更してご使用の場合、“F※”にて各種設定が選択できるようになっています。具体的な設定項目としては動作モード、出力形態、表示色、デジタルフィルタ、オートプリセット使用の有無、アナログ/オートシフト/コピー、表示値微調整、サブ画面表示、表示分解能、省電力モード使用の有無、暗証番号使用の有無等の設定が該当します。
	負荷インピーダンス	“最大負荷インピーダンス”参照。
	分解能	“表示分解能”参照。
ボトム値表示(モード)	現在までの到達最低圧力値を表示します。	
ま	マニュアルセット	オートプリセットを使用せず手動で圧力設定を行うことを言います。主にオートプリセットでの圧力設定と区別するためにこの言葉を使用しています。
ら	リップル	脈動のことを言います。

取付け・設置

■ 設置方法

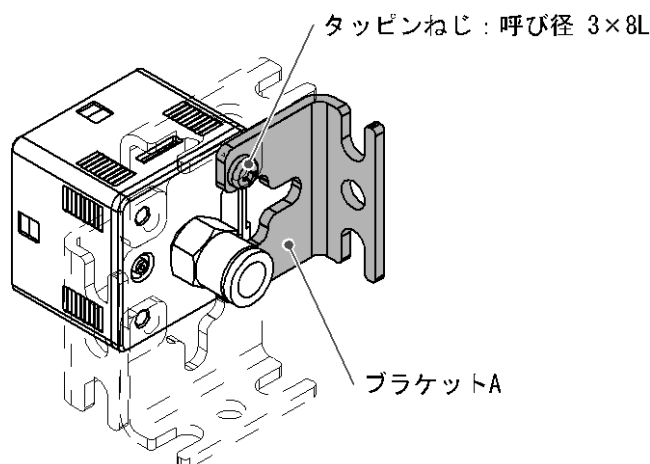
○ 取付けのしかた

- オプションの専用ブラケットまたはパネルマウントアダプタを使用し、取付けてください。
- 水・ホコリ等が本体にかかる場所に設置する場合は大気開放ポートに別売のチューブを差込み、水・ホコリのかからない場所まで配管してください。
なお M12 コネクタタイプは内部に防水シールを装着していますので、水の侵入はありませんが大気開放ポートに常時水・ホコリ等がかかる場合は同様に対応願います。
(詳細は、22ページ「チューブの取付方法」を参照ください。)

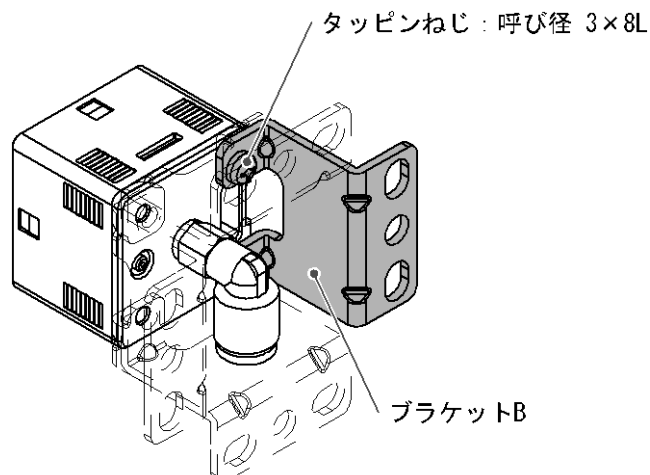
○ ブラケットによる装着方法

- ブラケットを取付ねじ(タッピンねじ：呼び径 3×8L(2本))で本体に取付けて設置してください。
※：ブラケットの取付ねじの締付トルクは $0.5 \pm 0.05 \text{ N} \cdot \text{m}$ にて締付けてください。(ブラケットA、ブラケットB)
ブラケットの取付ねじの締付トルクは $0.4 \pm 0.05 \text{ N} \cdot \text{m}$ にて締付けてください。(ブラケットD、ブラケットE)
タッピンねじ使用のため、複数回取付け、取外しができなくなりますのでご注意ください。

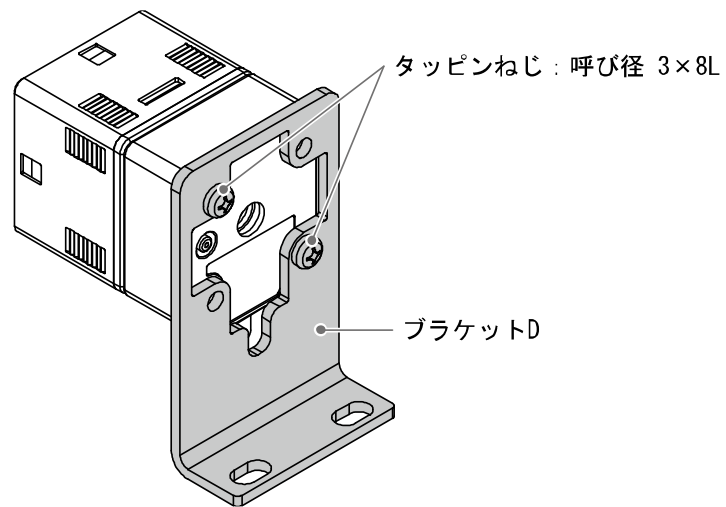
- ・ ブラケットA(品番：ZS-46-A1)



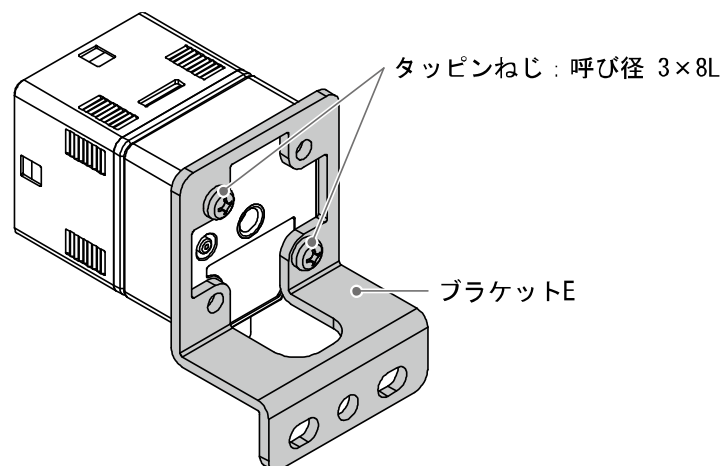
- ・ ブラケットB(品番：ZS-46-A2)



- ・ ブラケットD(品番 : ZS-46-A4)



- ・ ブラケットE(品番 : ZS-46-A5)

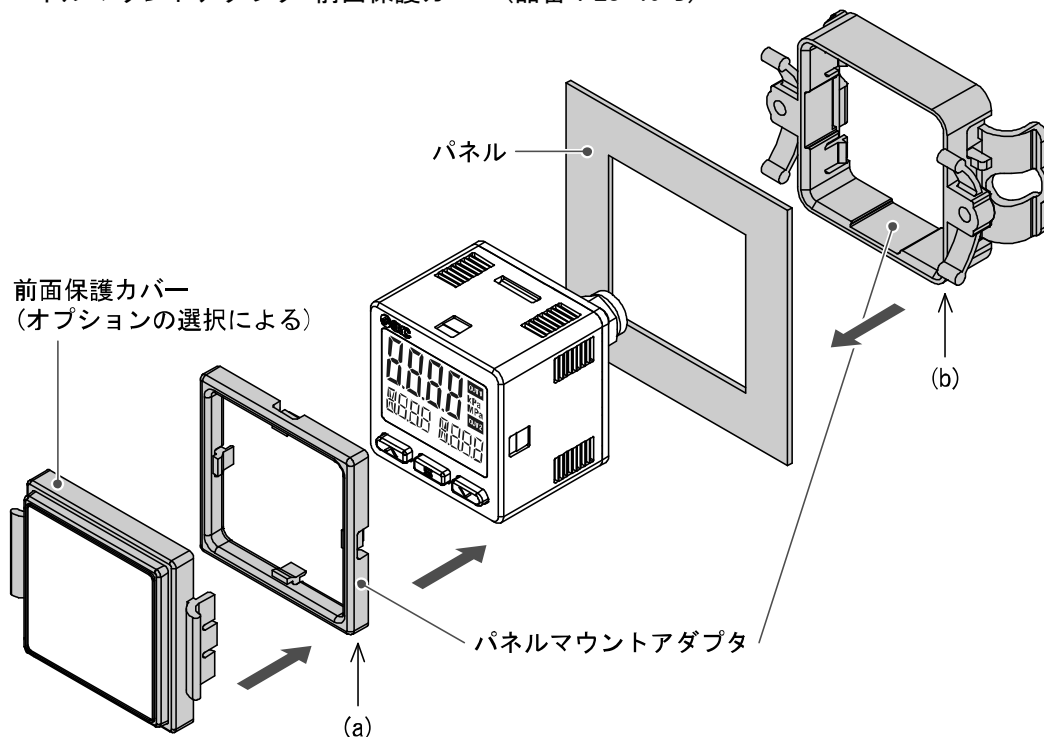


○パネルマウントアダプタによる装着方法

※：オプション1" S"には使用できません。

- (a)を本体前面部に取付けて固定した後に、パネル前面に(a)が当たるまで挿入します。次にパネル背面から(b)を本体に取付け、パネルに接触するまで押込むことで固定できます。

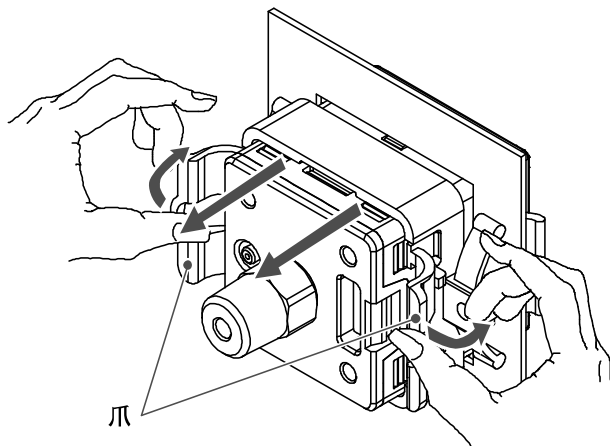
- ・パネルマウントアダプタ (品番：ZS-46-B)
- ・パネルマウントアダプタ+前面保護カバー (品番：ZS-46-D)



※：パネルマウントアダプタは90度回転して取付け可能です。

パネルマウントアダプタを取外す場合

- パネルマウントアダプタ付デジタル圧カスイッチを設備より取外す際は、下図のように爪を外側に押し広げながら手前に引き、外してください。広げずに引くと、圧カスイッチ・パネルマウントアダプタを破損する恐れがあります。



■配管方法

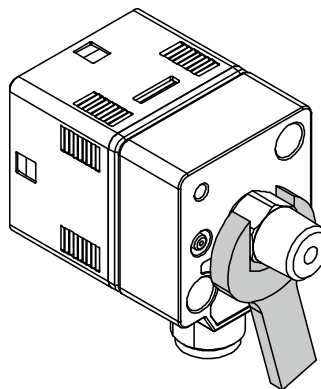
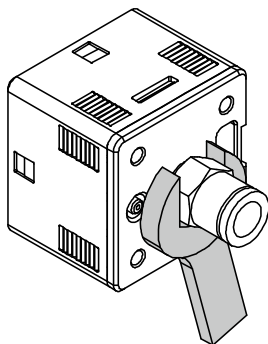
○接続ねじの締込方法

- 本体への接続の場合(配管仕様：-M5の場合)

手締め後、接続するねじ側六角面を適正なスパナで約1/6～1/4回転増締めしてください。

参考値としては、締付トルク：1～1.5 N・mです。

(配管アダプタZS-46-N口を交換して取付ける場合も同様の方法で締込んでください。)

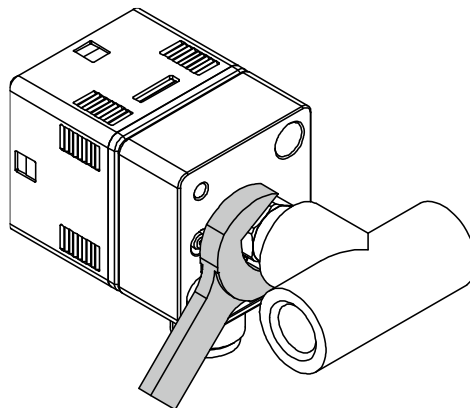
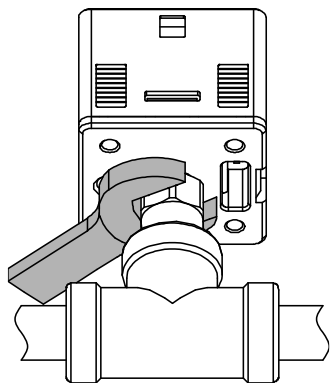


M12コネクタタイプ

- 配管仕様：-01、-N01の場合

手締め後、配管部六角面を適正なスパナで2～3回転締込んでください。

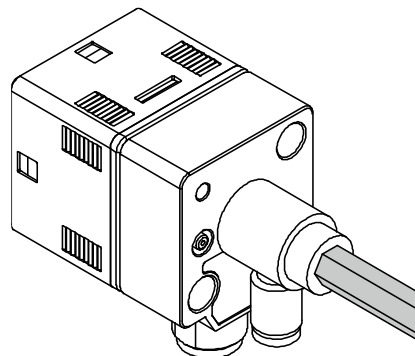
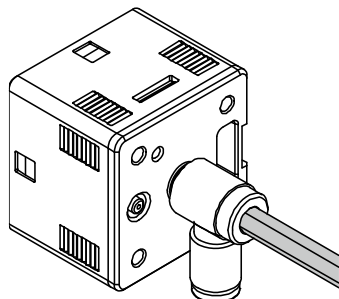
参考値としては、締付トルク：3～5 N・mです。



M12コネクタタイプ

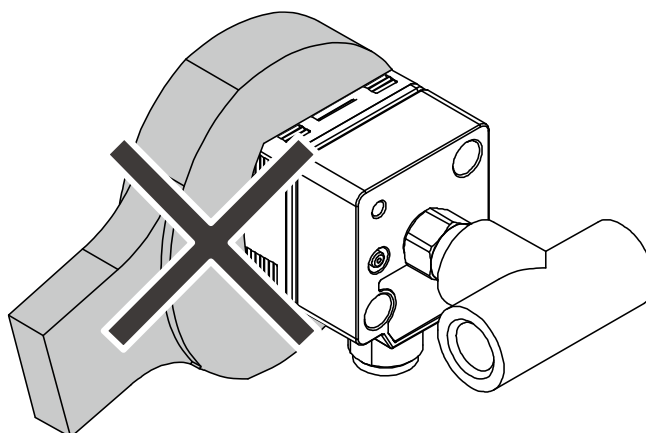
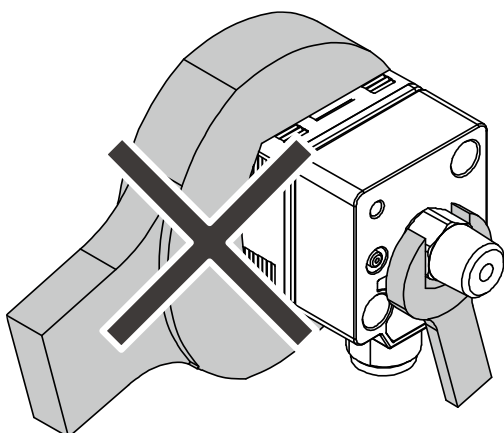
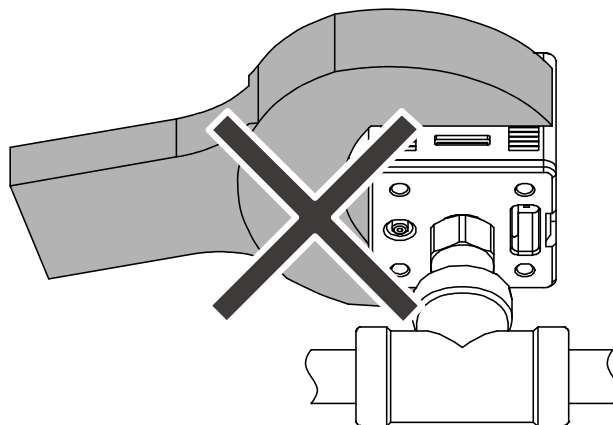
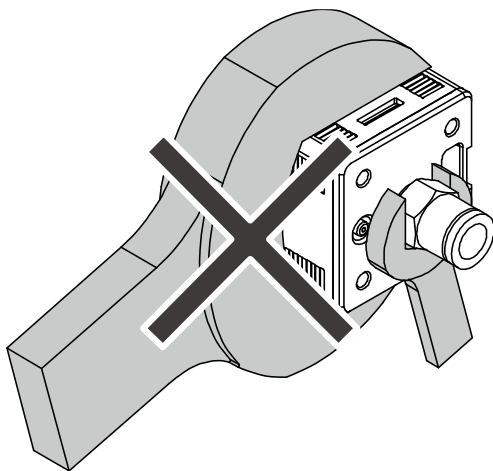
●配管仕様：-C4L、-C6Lの場合

手締め後、六角穴部を適正な六角レンチで約1/6~1/4回転増締めしてください。
参考値としては、締め付トルク：1~1.5 N・mです。



M12コネクタタイプ

ねじ締込みの際には、圧カスイッチ本体をスパナで固定しないでください。



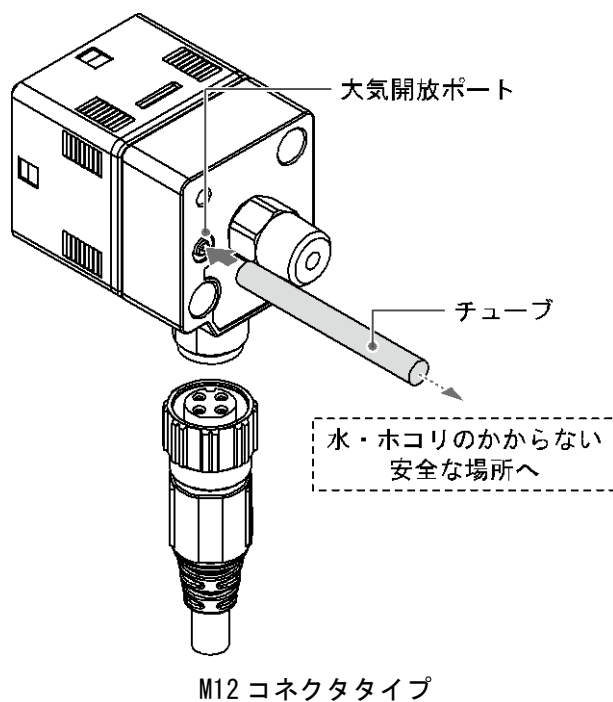
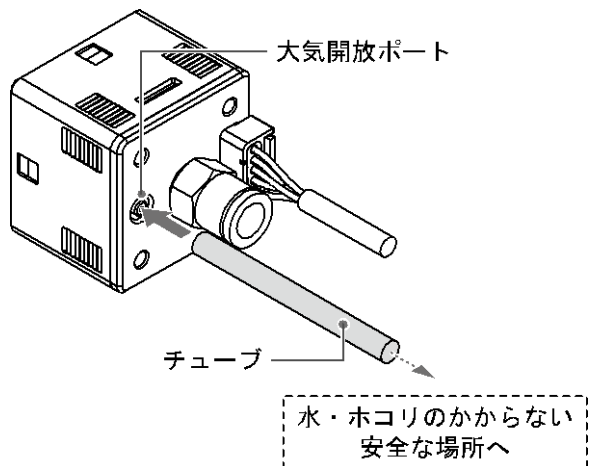
M12コネクタタイプ

○チューブの取付方法

- スイッチの大気開放ポートが水・ホコリ等でふさがれる可能性がある場合は別売のチューブを大気開放ポートに根本まで挿入し、反対側を水・ホコリのかからない安全な場所まで配管してください。
なお M12 コネクタタイプは内部に防水シールを装着していますので、水の侵入はありませんが大気開放ポートに常時水・ホコリ等がかかる場合は同様に対応願います。
(下図参照)

※：チューブは大気開放ポートの根本まで挿入されていることを確認ください。

※：チューブは当社TU0425(材質：ポリウレタン 外径Φ4 内径Φ2.5)をご使用ください。



■配線方法

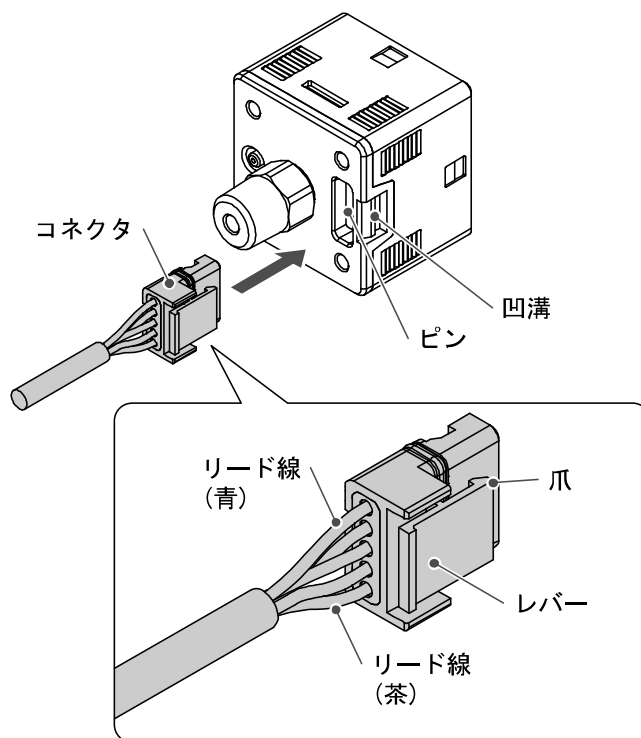
○接続について

- 接続作業は電源を切断した状態で行ってください。
- 配線は単独の配線経路をご使用ください。動力線や高圧線と同一配線経路を使用すると、ノイズによる誤作動の原因となります。
- 市販のスイッチング電源を使用する場合は、必ずFG端子に接地をしてください。市販のスイッチング電源に接続して使用する場合、スイッチングノイズが重畳され、製品仕様を満足できなくなります。その場合は、スイッチング電源との間に、ラインノイズフィルタ・フェライトなどのノイズフィルタを挿入するか、スイッチング電源よりシリーズ電源に変更してご使用ください。

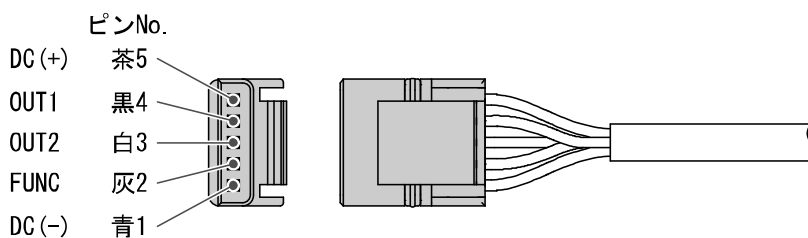
○コネクタの使用方法

コネクタの着脱

- コネクタを装着する場合、レバーとコネクタ本体を指ではさむようにして真直ぐピンに挿入し、ハウジングの凹溝にレバーの爪を押し込むようにしてロックします。
- コネクタを引き抜く場合、親指でレバーを押し下げて爪を凹溝から外しながら真直ぐに引いて外します。

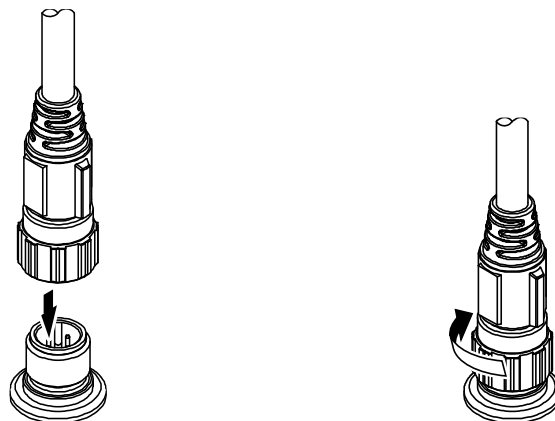


コネクタのピン番号

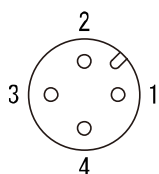


コネクタの着脱(M12 コネクタタイプ)

- コネクタの締付けは、手で行って下さい。
- 本体側コネクタのキーとケーブル側コネクタのキー溝の向きを合わせ、垂直に挿入します。
- ケーブル側コネクタのローレット部を時計方向に回します。
- ローレット部がしまったら接続完了です。緩みがないか確認してください。



○コネクタピン番号(本体側)



ピン番号	名称	
	X、Y	R、S、T、V
1	DC(+)	
2	OUT2	FUNC
3	DC(-)	
4	OUT1	

○内部回路と配線例

Z/ISE20B(F)-□-□-□-□□□
 ↓ 出力仕様

-S/-R

(アナログ出力使用時)

スイッチ出力

NPN オープンコレクタ出力タイプ 2 出力

Max. 28 V、80 mA

残留電圧 1 V 以下

R : アナログ出力 1~5 V

出力インピーダンス 1 kΩ

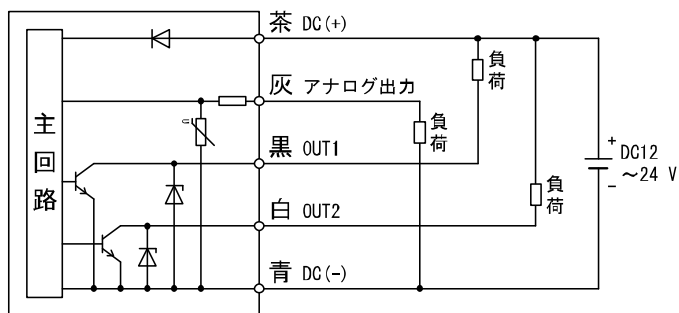
S : アナログ出力 4~20 mA

最大負荷インピーダンス

電源電圧 12 V 時 : 300 Ω

電源電圧 24 V 時 : 600 Ω

最小負荷インピーダンス 50 Ω



-S/-R

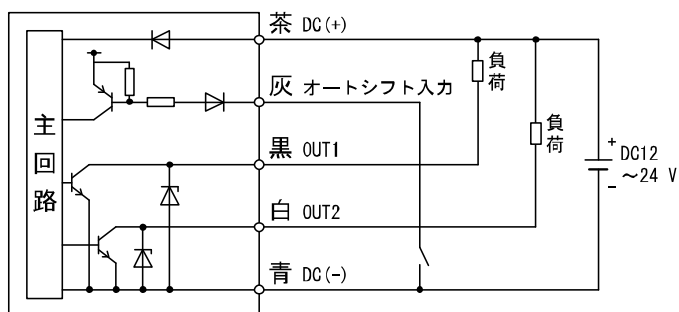
(オートシフト入力使用時)

オートシフト付スイッチ出力

NPN オープンコレクタ出力タイプ 2 出力

Max. 28 V、80 mA

残留電圧 1 V 以下



-X

(コピー機能付スイッチ出力)

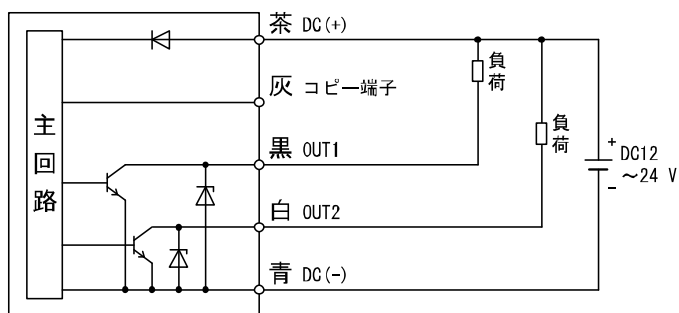
-S/-R

(コピー入力使用時)

NPN オープンコレクタ出力タイプ 2 出力

Max. 28 V、80 mA

残留電圧 1 V 以下



-V/-T

(アナログ出力使用時)

スイッチ出力

PNP オープンコレクタ出力タイプ 2 出力

Max. 80 mA

残留電圧 1 V 以下

T : アナログ出力 1~5 V

出力インピーダンス 1 k Ω

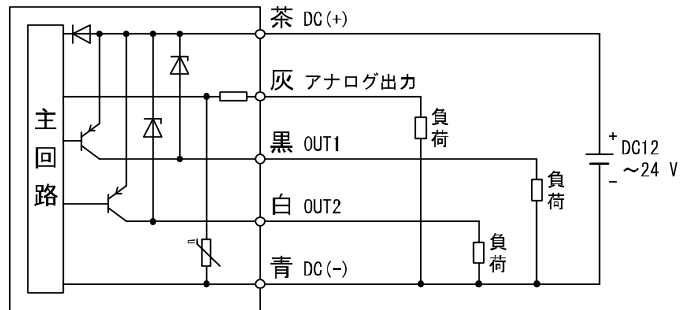
V : アナログ出力 4~20 mA

最大負荷インピーダンス

電源電圧 12 V 時 : 300 Ω

電源電圧 24 V 時 : 600 Ω

最小負荷インピーダンス 50 Ω



-V/-T

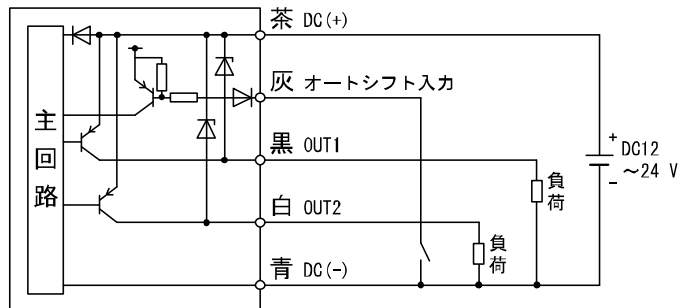
(オートシフト入力使用時)

オートシフト付スイッチ出力

PNP オープンコレクタ出力タイプ 2 出力

Max. 80 mA

残留電圧 1 V 以下



-Y

(コピー機能付スイッチ出力)

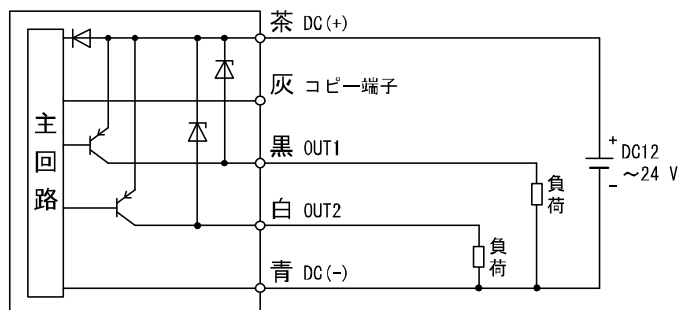
-V/-T

(コピー入力使用時)

PNP オープンコレクタ出力タイプ 2 出力

Max. 28 V、80 mA

残留電圧 1 V 以下

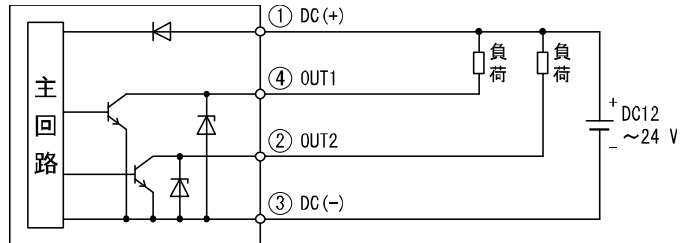


Z/ISE20B(F)-□-□-□-**S**□□

● 出力仕様

-X

NPN オープンコレクタ出力タイプ 2 出力



-S/-R

(アナログ出力使用時)

スイッチ出力

NPN オープンコレクタ出力タイプ 1 出力

Max. 28 V、80 mA

残留電圧 1 V 以下

R : アナログ出力 1~5 V

出力インピーダンス 1 kΩ

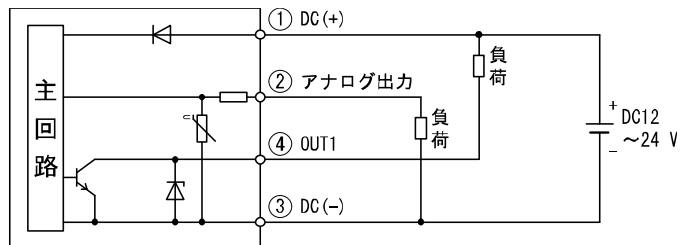
S : アナログ出力 4~20 mA

最大負荷インピーダンス

電源電圧 12 V 時 : 300 Ω

電源電圧 24 V 時 : 600 Ω

最小負荷インピーダンス 50 Ω



-S/-R

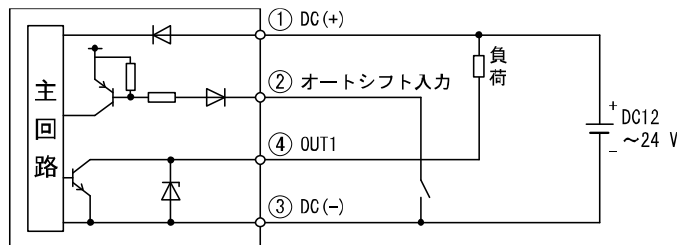
(オートシフト入力使用時)

オートシフト付スイッチ出力

NPN オープンコレクタ出力タイプ 1 出力

Max. 28 V、80 mA

残留電圧 1 V 以下



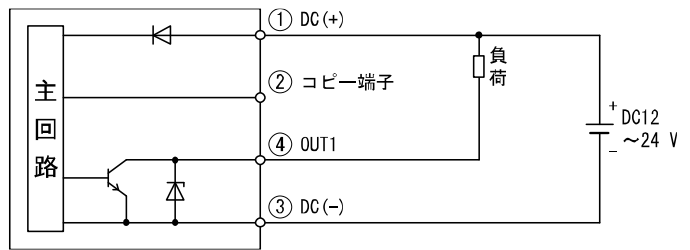
-S/-R

(コピー入力使用時)

NPN オープンコレクタ出力タイプ 1 出力

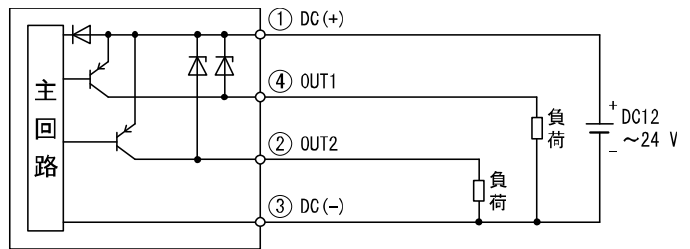
Max. 28 V、80 mA

残留電圧 1 V 以下



-Y

PNP オープンコレクタ出力タイプ 2 出力



-V/-T

(アナログ出力使用時)

スイッチ出力

PNP オープンコレクタ出力タイプ 1 出力

Max. 80 mA

残留電圧 1 V 以下

T : アナログ出力 1~5 V

出力インピーダンス 1 kΩ

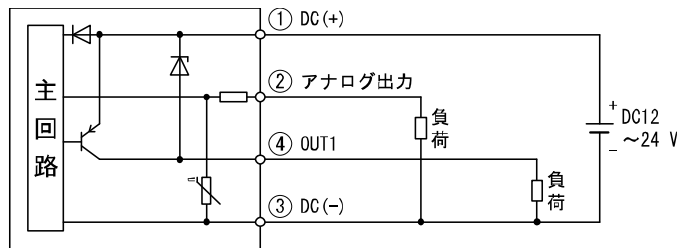
V : アナログ出力 4~20 mA

最大負荷インピーダンス

電源電圧 12 V 時 : 300 Ω

電源電圧 24 V 時 : 600 Ω

最小負荷インピーダンス 50 Ω



-V/-T

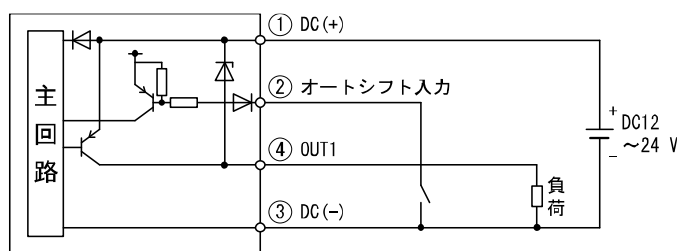
(オートシフト入力使用時)

オートシフト付スイッチ出力

PNP オープンコレクタ出力タイプ1 出力

Max. 80 mA

残留電圧 1 V 以下



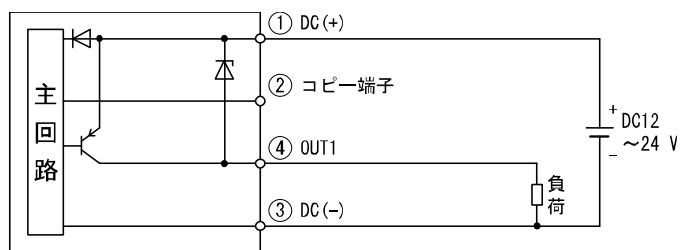
-V/-T

(コピー入力使用時)

PNP オープンコレクタ出力タイプ1 出力

Max. 28 V、80 mA

残留電圧 1 V 以下



※：図中の数字は、コネクタピン配列を示します。

設定の概要 [測定モード]

電源を投入



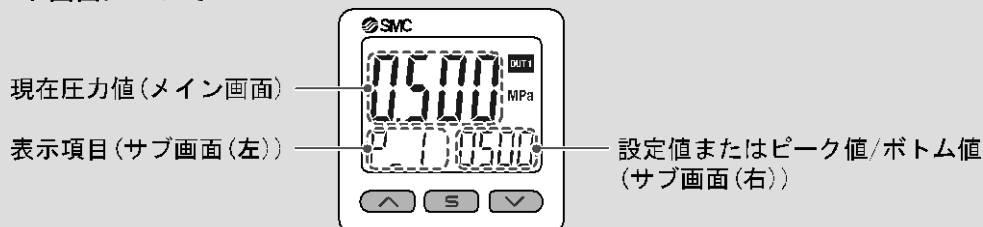
電源投入後約3秒間は、製品の識別コードが表示されます。
※：電源投入後、約0.2秒後までにスイッチ動作は開始します。



[測定モード]

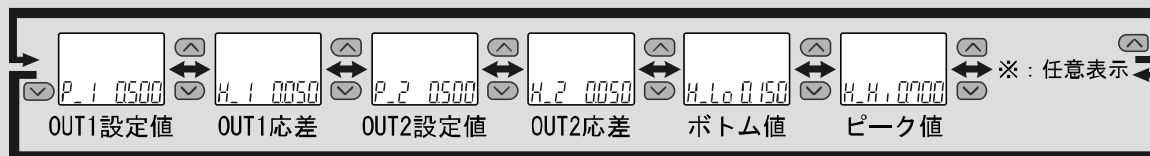
電源投入後、圧力を検出し表示やスイッチ動作を行っている状態を指します。
目的に応じて設定の変更やその他の機能を設定するモードに移行することができる基本モードです。

測定モード画面について

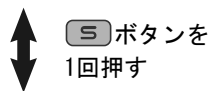


サブ画面の表示内容について

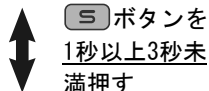
測定モードにて または ボタンを押すと、サブ画面の表示内容を切替えることができます。



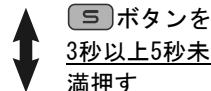
※：[F10]サブ画面の設定によってサブ画面に任意の表示方式を1つ追加することができます。任意表示設定時、サブ画面の表示を切替えた場合は、30秒後に任意表示に戻ります。
(工場出荷時は任意表示なしで設定されています。)



設定値、応差の
1つを設定する
(3ステップ設定
モード)
(32 ページ参照)



設定値、応差、
ディレー時間を
設定する
(簡易設定モード)
(34 ページ参照)



それぞれの機能の
設定を変更する
(ファンクション選択
モード)
(36 ページ参照)



その他の設定
・ゼロクリア
・キーロック
(69 ページ参照)

※：設定中も出力動作します。

※：設定中に3秒間ボタン操作がないと表示が点滅します。(設定中の離席などによる設定忘れ防止のため)

※：3ステップ設定モード、簡易設定モード、ファンクション選択モードの設定は、相互に反映されます。

圧力の設定

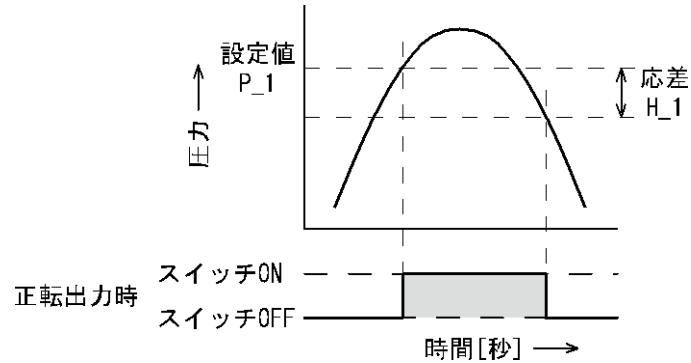
出荷時の設定

圧力が設定値を超えるとスイッチがONします。

圧力が設定値から応差以上下がると、スイッチがOFFします。

工場出荷時は、大気圧と定格圧力範囲上限の中心値でONするように設定されています。

下図に示す動作にて支障のない場合は、そのままご使用ください。



● ISE20B

項目	出荷時の設定
[P_1] OUT1の設定値	0.500 MPa
[H_1] OUT1の応差	0.050 MPa

項目	出荷時の設定
[P_2] OUT2の設定値	0.500 MPa
[H_2] OUT2の応差	0.050 MPa

● ZSE20B

項目	出荷時の設定
[P_1] OUT1の設定値	-50.5 kPa
[H_1] OUT1の応差	5.1 kPa



項目	出荷時の設定
[P_2] OUT2の設定値	-50.5 kPa
[H_2] OUT2の応差	5.1 kPa

● ZSE20BF

項目	出荷時の設定
[P_1] OUT1の設定値	50.0 kPa
[H_1] OUT1の応差	5.0 kPa

項目	出荷時の設定
[P_2] OUT2の設定値	50.0 kPa
[H_2] OUT2の応差	5.0 kPa

表示値のゼロクリアについて

測定モード中に、とボタンを同時に1秒間押すと表示値のゼロ調整を行うことができます。

はじめてご使用になる場合は、測定モード時に圧力が印加されていない状態においてゼロクリアを行ってください。

3 ステップ設定モード

3 ステップ設定モードとは

設定値のみを3ステップだけで入力することができるモードです。
設定値だけを変更してすぐに使いたい、という場合にこのモードをご使用ください。
(メイン画面には現在圧力値が表示されています。)

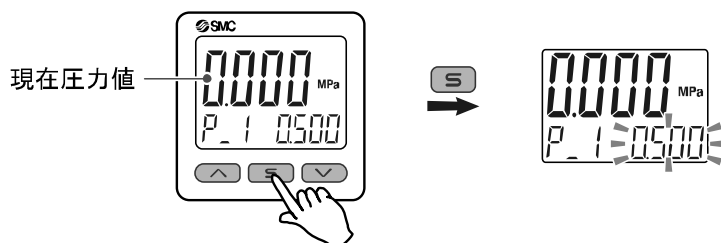
〈操作方法〉

「3ステップ設定モード(ヒステリシスモード)」

3ステップ設定モードでは設定値(P_1またはn_1、P_2またはn_2)と応差(H_1またはH_2)を変更することができます。

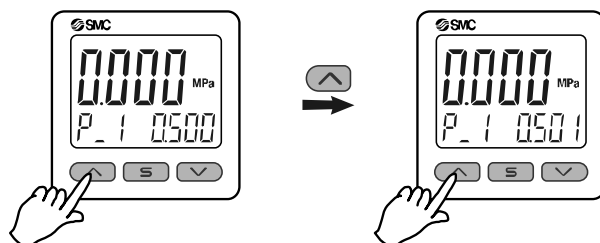
あらかじめサブ画面を(▲)または(▼)ボタンで変更したい項目(設定値または応差)に合わせてください。
設定値変更の場合は、以下の操作方法となります。応差の設定も同様に変更することができます。

- ① サブ画面に変更したい項目が表示されている状態で(S)ボタンを1回押してください。サブ画面(右)の設定値が点滅します。

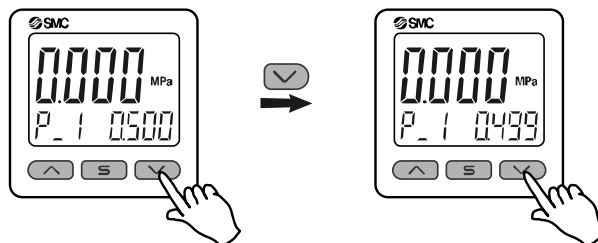


- ② (▲)または(▼)ボタンを押して、設定値を変更してください。
(▲)ボタンで設定値の増加、(▼)ボタンで設定値の減少ができます。

- (▲)ボタンを1回押すと数値が増加し、押し続けると連続して増加します。



- (▼)ボタンを1回押すと数値が減少し、押し続けると連続して減少します。



- (▲)と(▼)ボタンを同時に1秒以上長押しすると設定値が[- -]と表示され、自動的に設定値が現在圧力値と同値になります(スナップショット機能(69ページ参照))。この後、(▲)、(▼)ボタンを押すことによる再調整も可能です。

- ③ (S)ボタンを押すと設定が完了します。

ウインドコンパレータモードは、設定した圧力範囲(P1LからP1Hまでの間)でスイッチが動作します。
32ページの設定方法と同様にP1L(スイッチ動作点下限)、P1H(スイッチ動作点上限)、WH1(応差)の設定を個別に行ってください。

(反転出力を選択している場合は、n1Lとn1Hになります。)

各設定値と動作の関係については、41ページ「出力モードの一覧」を参照ください。

※：OUT2も同様に設定出来ます。

正転/反転切換え、ヒステリシスモード/ウインドコンパレータモード切換えは、ファンクション選択モード
[F 1]OUT1の設定または[F 2]OUT2の設定にて行います。

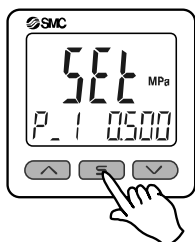
簡易設定モード

〈操作方法〉

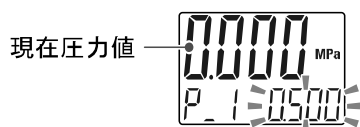
「簡易設定モード(ヒステリシスモード)」

簡易設定モードでは、現在圧力値(メイン画面)を確認しながら設定値、応差、ディレイ時間を変更することができます。

- ①測定モード時に **[S]** ボタンを1秒以上3秒未満押してください。メイン画面に[SEt]が表示されます。
[SEt]表示時にボタンを離すと、メイン画面に現在圧力値が表示され、サブ画面(左)に[P_1]または[n_1]とサブ画面(右)に設定値(点滅)が表示されます。



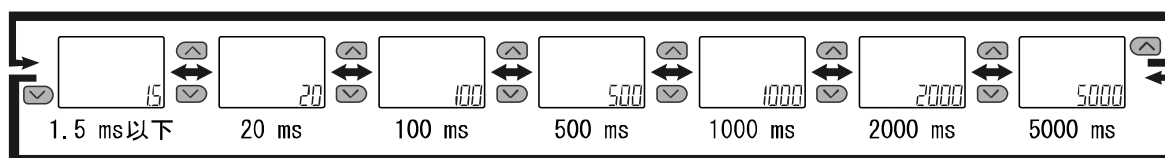
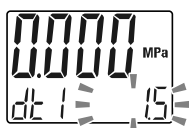
- ② **[↑]** または **[↓]** ボタンを押して、設定値を変更後、**[S]** ボタンを押すと設定され、応差の設定に移ります。(スナップショット機能が使用できます。(69ページ参照))



- ③ **[↑]** または **[↓]** ボタンを押して、設定値を変更後、**[S]** ボタンを押すと設定され、スイッチ出力のディレイ(遅れ)時間の設定に移ります。(スナップショット機能が使用できます。(69ページ参照))



- ④ **[↑]** または **[↓]** ボタンを押して、スイッチ出力のディレイ時間を選択します。
ディレイ時間の設定により、出力のチャタリングを防止することができます。



- ⑤ **[S]** ボタンを2秒以上押すと、設定が完了します。
(2秒未満の場合は、OUT2の設定に移ります。)

※1: 選択した①~④の項目は **[S]** ボタンを押した後、有効となります。

※2: **[S]** ボタンで設定を有効とした後、2秒以上 **[S]** ボタンを押し続けると①~④どの項目でも測定モードに移動することができます。

※3: 出力モード(39ページ参照)がエラー出力または出力オフに設定されている場合には簡易設定モードは使用できません。
([SEt]表示時にボタンを離すと測定モードに移ります。)

※4: 測定モード時のサブ画面にOUT2の設定項目が表示されている場合には、①はOUT2の設定[P_2]または[n_2]から始まります。

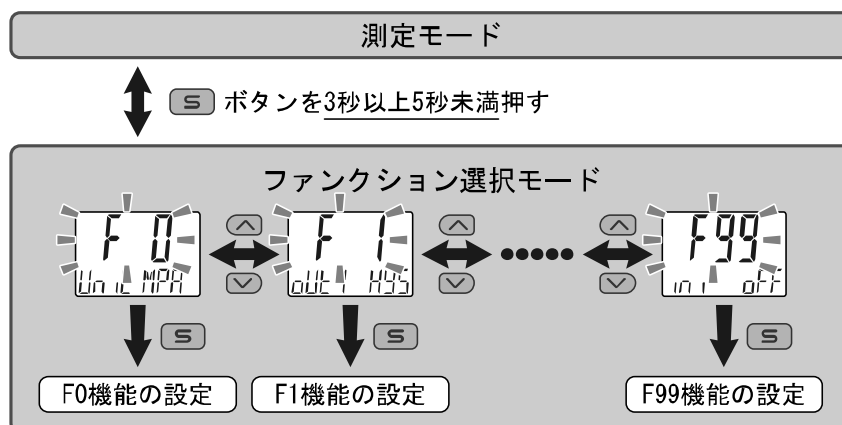
ウインドコンパレータモードについても 34 ページの設定方法と同様に P1L (スイッチ動作点下限)、P1H (スイッチ動作点上限)、WH1 (応差)、dt1 (ディレー(遅れ)時間) の設定を行ってください。
(反転出力を選択している場合は、n1L と n1H になります。)
各設定値と動作の関係については、41 ページ「出力モードの一覧」を参照ください。

※ : OUT2 も同様に設定出来ます。

ファンクション選択モード

■ ファンクション選択モードとは

測定モードにて **[S]** ボタンを3秒以上5秒未満押すと [F 0] が表示されます。
 この [F□□] を表示し、それぞれの機能の設定を変更するモードを指します。
 ファンクション選択モード時に **[S]** ボタンを2秒以上押すと測定モードに戻ります。



※：品番によって、対応しない機能があります。対応しない機能や他の設定により選択が不可能な項目は、サブ画面(右)に[- -]が表示されます。

■ 工場出荷時の設定

工場出荷時は次のように設定されています。
 本設定にて支障のない場合は、そのままご使用ください。
 変更される場合はファンクション選択モードより設定してください。

● [F 0] 単位切換機能について ➡ 38ページ

単位仕様	圧力レンジ	工場出荷時の設定
"無"またはM	ISE20B	MPa
	ZSE20B (F)	kPa
P	ISE20B	psi
	ZSE20B (F)	

● [F 1] OUT1の設定項目について ➡ 39ページ

項目	説明	工場出荷時の設定
出力モード	ヒステリシスモード、ウインドコンパレータモード、エラー出力、出力オフのいずれかを選択できます。	ヒステリシスモード
出力反転	スイッチ出力の正反転を、設定することができます。	正転出力
圧力の設定	スイッチ出力のON点またはOFF点を設定できます。	ISE20B : 0.500 MPa ZSE20B : -50.5 kPa ZSE20BF : 50.0 kPa
応差	応差の設定によりチャタリングを防止することができます。	ISE20B : 0.050 MPa ZSE20B : 5.1 kPa ZSE20BF : 5.0 kPa
ディレー時間	スイッチ出力のディレー時間を選択することができます。	1.5 ms以下
表示色	表示色と連動させる出力を選ぶことができます。	OUT1 ON時 : 緑 OUT1 OFF時 : 赤

- [F 2] OUT2の設定項目について ➡➡ 42ページ

[F 1] OUT1 と同様の設定です。

- その他の設定項目について

項目	該当ページ	工場出荷時の設定
[F 3] デジタルフィルタの設定	44ページ	0 ms
[F 4] オートプリセット機能の設定	45ページ	使用しない
[F 5] FUNC端子の設定	47ページ	アナログ出力 ※
[F 6] 表示値微調整の設定	49ページ	0%
[F10] サブ画面の設定	50ページ	std(標準)
[F11] 表示分解能の設定	56ページ	1000分割
[F80] 省電力モードの設定	57ページ	OFF
[F81] 暗証番号の入力の設定	58ページ	OFF
[F82] ライン名入力設定	60ページ	AAAA
[F90] 全ファンクションの設定	61ページ	OFF
[F96] 入力信号確認	63ページ	設定項目なし
[F97] コピー機能の選択	64ページ	OFF
[F98] 出力確認	66ページ	しない(通常出力)
[F99] 出荷状態への復帰	68ページ	OFF

※：出力仕様 X、Y の場合、“—”が表示されます。

■ [F 0] 単位切換機能



単位切換機能付の製品をご使用の場合に設定できます。
 圧力レンジにより表示できる単位が異なります。
 (単位切換機能のない製品でもkPa/MPaのみ選択可)

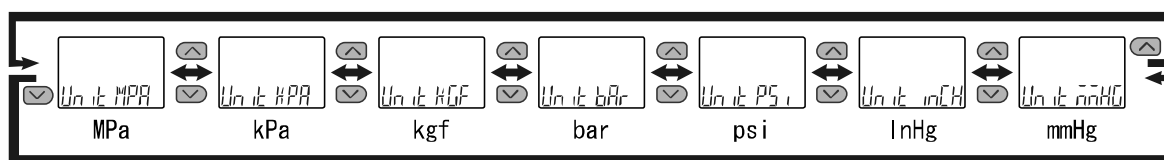
<操作方法>


ファンクション選択モード時に、またはボタンを操作し、[F 0]を表示させてください。

 ボタンを押します。↓ 表示単位の選択に移ります。

表示単位の選択

またはボタンを押して、表示単位を選びます。



 ボタンを押して設定。↓ ファンクション選択モードに戻ります。

[F 0] 単位切換機能の設定完了

● 表示可能単位および設定最小単位

単位	ZSE20BF	ZSE20B	ISE20B
MPa	0.001	0.001	0.001
kPa	0.1	0.1	1
kgf/cm ²	0.001	0.001	0.01
bar	0.001	0.001	0.01
psi	0.02	0.01	0.1
InHg	0.1	0.1	-
mmHg	1	1	-

■ [F 1] OUT1の設定


OUT1の出力方法の設定をします。

圧力が設定値より大きくなると出力がONします。工場出荷時は、大気圧と定格圧力範囲上限の中心値でONするように設定されています。



表示色は工場出荷時にはOUT1の出力状態に連動し、出力ON時に緑色となり、出力OFF時には赤色となります。各設定項目による動作については、41ページ「出力モードの一覧」を参照ください。

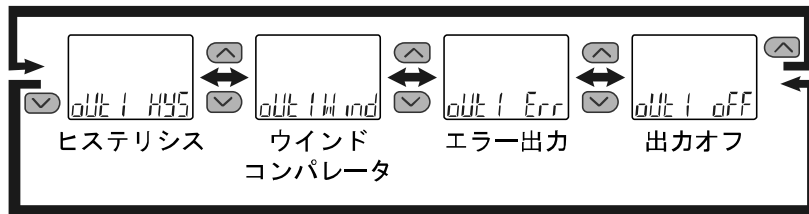
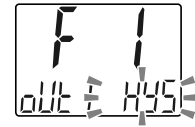
＜操作方法＞

ファンクション選択モード時に、またはボタンを操作し、[F 1]を表示させてください。

 ボタンを押します。↓ 出力モードの設定に移ります。



出力モードの設定

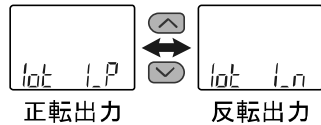
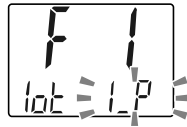
またはボタンを押して、出力モードを選びます。



 ボタンを押して設定。↓ 出力反転の設定に移ります。

出力反転の設定

またはボタンを押して、出力反転を選びます。



 ボタンを押して設定。↓ 圧力の設定に移ります。


圧力の設定

32 ページの設定方法に基づき、圧力の設定を行います。




ヒステリシスモードの場合：[P_1]
ウインドコンパレータモードの場合：[P1L] [P1H]
反転出力選択時に[P_1]→[n_1]のように
“P”が“n”に変わります。
スナップショット機能が使用できます。
(69 ページ参照)

[Err]エラー出力選択時

 ボタンを押して表示色の設定に移ります。

 ボタンを押して設定。↓ 応差の設定に移ります。

[OFF]出力オフ選択時

 ボタンを押して表示色の設定に移ります。

応差の設定

32ページの設定方法に基づき、
応差の設定を行います。

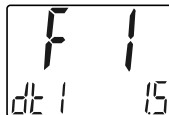


ヒステリシスモードの場合：[H_1]
ウインドコンパレータモードの場合：[WH1]
スナップショット機能が使用できます。(69 ページ参照)

S ボタンを押して設定。↓ デイレー時間の設定に移ります。

デイレー時間の設定

34ページの設定方法に基づき、
デイレー時間の設定を行います。



S ボタンを押して設定。↓ 表示色の設定に移ります。

表示色の設定

▲ または **▼** ボタンを押して、表示色を選びます。



▼	▲	▲	▲	▲	▲	▲
[Col 1500]	[Col 150r]	[Col 2500]	[Col 250r]	[Col rfd]	[Col Grn]	
ON時：緑 OFF時：赤 (OUT1に連動)	ON時：赤 OFF時：緑 (OUT1に連動)	ON時：緑 OFF時：赤 (OUT2に連動)	ON時：赤 OFF時：緑 (OUT2に連動)	常時：赤	常時：緑	

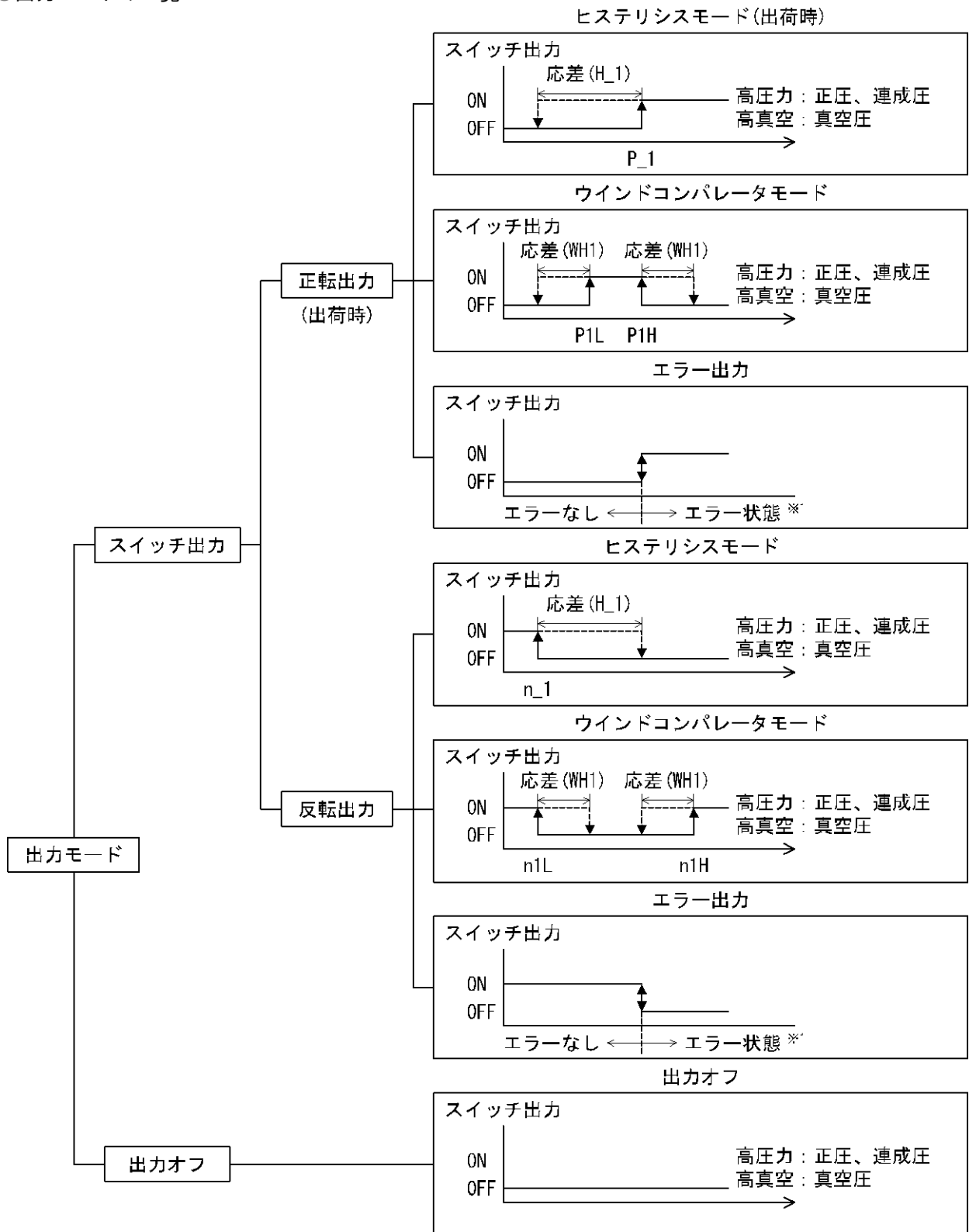
S ボタンを押して設定。↓ ファンクション選択モードに戻ります。

[F 1] OUT1の設定完了

※1：選択した項目は **S** ボタンを押した後、有効となります。

※2： **S** ボタンで設定を有効とした後、2秒以上 **S** ボタンを押し続けると測定モードに移動することが可能です。

●出力モードの一覧



※1：対象エラーはEr6、8、9、o、rおよびEr1または2(エラー出力を除く)となります。

※：上図はOUT1における動作を示したものです。OUT2の場合は上図の“1”が全て“2”に変わります。(例)P₁→P₂

出力反転の選択により、スイッチ出力の切換わる点が設定圧力範囲外になる場合には応差が自動的に補正されます。



■ [F 2] OUT2の設定


OUT2の出力方法の設定をします。

圧力が設定値より大きくなると出力がONします。工場出荷時は、大気圧と定格圧力範囲上限の中心値でONするように設定されています。


各設定項目による動作については、41ページ「出力モードの一覧」を参照ください。

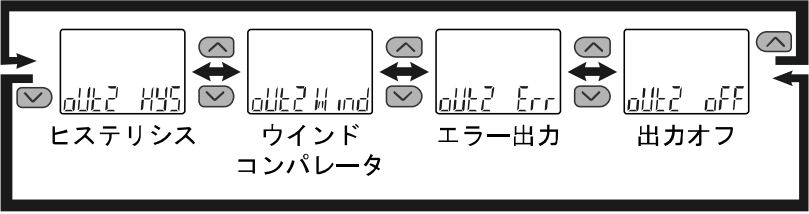
〈操作方法〉

ファンクション選択モード時に、またはボタンを操作し、[F 2]を表示させてください。

 ボタンを押します。↓ 出力モードの設定に移ります。



出力モードの設定

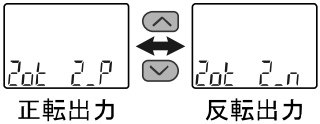
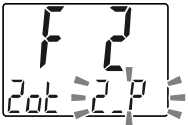
またはボタンを押して、出力モードを選びます。



 ボタンを押して設定。↓ 出力反転の設定に移ります。

出力反転の設定


またはボタンを押して、出力反転を選びます。



 ボタンを押して設定。↓ 圧力の設定に移ります。


圧力の設定


32 ページの設定方法に基づき、圧力の設定を行います。



ヒステリシスモードの場合：[P_2]
ウインドコンパレータモードの場合：[P2L] [P2H]
反転出力選択時に[P_2]→[n_2]のように“P”が“n”に変わります。
スナップショット機能が使用できます。
(69 ページ参照)

 ボタンを押して設定。↓ 応差の設定に移ります。

[OFF]出力オフ選択時
 ボタンを押して表示色の設定に移ります。

[Err]エラー出力選択時
 ボタンを押して表示色の設定に移ります。

応差の設定

32ページの設定方法に基づき、
応差の設定を行います。

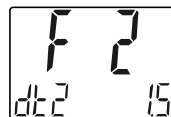


ヒステリシスモードの場合：[H_2]
ウインドコンパレータモードの場合：[WH2]
スナップショット機能が使用できます。(69 ページ参照)

S ボタンを押して設定。↓ デイレー時間の設定に移ります。

デイレー時間の設定

34ページの設定方法に基づき、
デイレー時間の設定を行います。



S ボタンを押して設定。↓ 表示色の設定に移ります。

表示色の設定

▲ または **▼** ボタンを押して、表示色を選びます。



▼	▲	▲	▲	▲	▲	▲
[Col 1500]	[Col 150r]	[Col 2500]	[Col 250r]	[Col rfd]	[Col Grn]	▲
ON時：緑 OFF時：赤 (OUT1に連動)	ON時：赤 OFF時：緑 (OUT1に連動)	ON時：緑 OFF時：赤 (OUT2に連動)	ON時：赤 OFF時：緑 (OUT2に連動)	常時：赤	常時：緑	

S ボタンを押して設定。↓ ファンクション選択モードに戻ります。

[F 2] OUT2の設定完了



※1：選択した項目は **S** ボタンを押した後、有効となります。


※2：**S** ボタンで設定を有効とした後、2秒以上 **S** ボタンを押し続けると測定モードに移動することが可能です。

■ [F 3] デジタルフィルタの設定



圧力の検出に対してデジタルフィルタを選択することができます。
デジタルフィルタの設定により、出力のチャタリングや測定モードでの表示のちらつきの抑制を行うことができます。

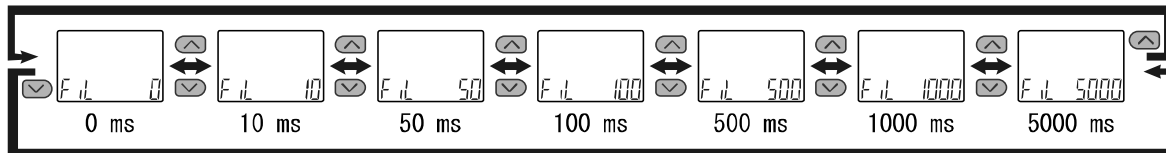
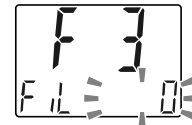
<操作方法>


ファンクション選択モード時に、またはボタンを操作し、[F 3]を表示させてください。

 ボタンを押します。↓ デジタルフィルタの設定に移ります。

デジタルフィルタの設定

またはボタンを押して、デジタルフィルタを選びます。



 ボタンを押して設定。↓ ファンクション選択モードに戻ります。

[F 3] デジタルフィルタの設定完了

※1：各設定値は、90%応答時間の目安です。


※2：スイッチ出力および圧力表示の両方に作用します。スイッチ出力のみに効果が必要な場合には、デイレート時間の設定(34、40、43ページ)を行ってください。

■ [F 4] オートプリセット機能の設定



ヒステリシスモード選択時、実際の稼動状態から最適な圧力値を自動的に計算し設定できる機能です。

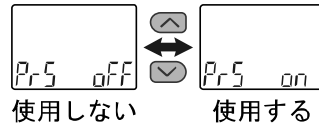
<操作方法>


ファンクション選択モード時に、またはボタンを操作し、[F 4]を表示させてください。

 ボタンを押します。↓ オートプリセット機能の設定に移ります。



オートプリセット機能の設定

または ボタンを押して、オートプリセット機能を選びます。



 ボタンを押して設定。↓ ファンクション選択モードに戻ります。

[F 4] オートプリセット機能の設定完了

測定モード時に ボタンを押して、圧力の設定を行ってください。
さらに、 ボタンを押し、表示が点滅している時に圧力を変動させて設定します。
(詳細は46ページを参照ください。)

●オートプリセット

ファンクション選択モードでオートプリセットを選択した場合、測定圧力から設定値を算出・記憶することができます。設定値は、設定対象となるワークを使用した装置の作動（例：吸着・非吸着等）を数回繰り返すことで、最適値に自動設定されます。

①オートプリセットOUT1の選択

測定モード時に **[S]** ボタンを押し [AP1 REdY] を表示させてください。
（OUT1の設定が不要な場合は、[AP1 REdY] を表示後、**[▲]** と **[▼]** ボタンを同時に1秒以上押してください。[AP2 REdY] に移動することができます。）



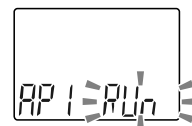
オートプリセット準備状態

②OUT1の装置の準備

OUT1の圧力を設定する装置の準備をしてください。

③OUT1のオートプリセット値の設定

[S] ボタンを押すと [AP1 RUn] が表示されます。
計測が開始されますので、装置を作動させ、圧力を変化させてください。
（[AP1 RUn] 表示時に、**[▲]** と **[▼]** ボタンを同時に1秒以上押すと、計測を中止し、[AP2 REdY] に移動することができます。）



オートプリセット設定中

④オートプリセットOUT2の選択

[S] ボタンを押すと「P_1」、「H_1」（反転モードの場合は「n_1」、「H_1」）が設定され、表示は [AP2 REdY] に切り替わります。
（OUT2の設定が不要な場合は、[AP2 REdY] を表示後、**[▲]** と **[▼]** ボタンを同時に1秒以上押してください。測定モードに移動することができます。）

⑤OUT2の装置の準備と設定

OUT2の圧力を設定する装置の準備を行い、上記OUT1の設定と同様の操作でOUT2の設定を行ってください。
[AP2 RUn] が表示されて計測が始まります。
（[AP2 RUn] 表示時に、**[▲]** と **[▼]** ボタンを同時に1秒以上押すと、計測を中止し、測定モードに移動することができます。）

⑥設定完了

[S] ボタンを押すと「P_2」、「H_2」が設定されオートプリセットモードが完了し、測定モードに戻ります。
（反転モードの場合は「n_2」、「H_2」となります。）

オートプリセットモードでの設定値はOUT1では次のようになります。

・正転出力時

$$P_1 = A - (A - B) / 4$$

$$H_1 = |(A - B) / 2|$$

・反転出力時

$$n_1 = B + (A - B) / 4$$

$$H_1 = |(A - B) / 2|$$

A=最高圧力値

B=最低圧力値

OUT2の設定では、上記のP_1、n_1、H_1はそれぞれP_2、n_2、H_2となります。

設定が不要な場合は、**[▲]** と **[▼]** ボタンを同時に1秒以上押してください。

■ [F 5] FUNC端子の設定

アナログ出力/オートシフト入力機能付の製品をご使用の場合にFUNC端子の機能を選択することができます。

アナログ出力：印加圧力に連動して比例出力を行う機能です。

オートシフト：信号入力時の圧力を基準として、相対的な変化量に対し出力を行う機能です。

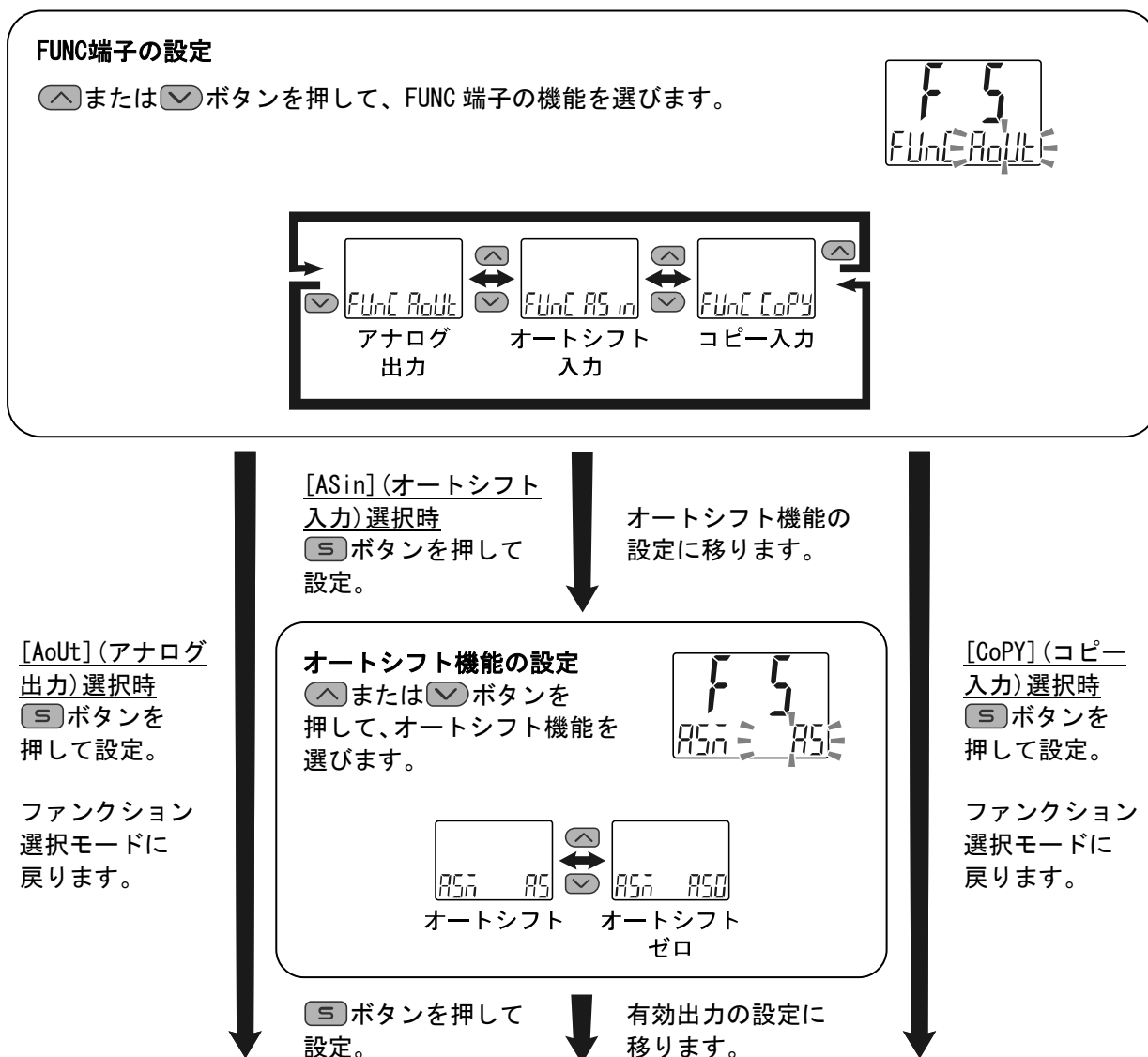
オートシフトゼロ：信号入力時の圧力を基準として、相対的な変化量に対し出力動作を行い、信号入力時に表示値を“0”とする機能です。

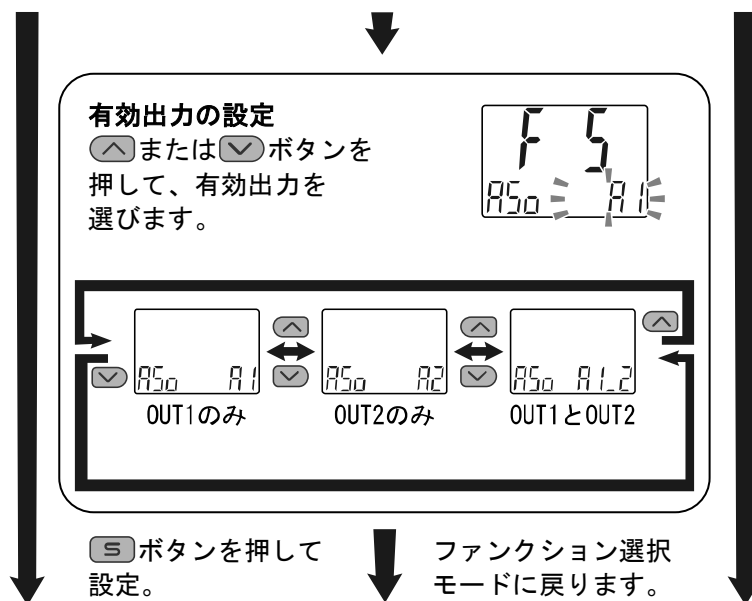
コピー入力：設定値をコピーする機能です。64ページ「[F97]コピー機能の選択」を参照ください。

＜操作方法＞

ファンクション選択モード時に、またはボタンを操作し、[F 5]を表示させてください。

 ボタンを押します。↓ FUNC端子の設定に移ります。





[F 5] FUNC端子の設定完了

オートシフト機能の設定条件

- ・オートシフト信号の入力時より 5 ms 以上圧力を一定に保ってください。
- ・オートシフト入力時、サブ画面表示は「ASin 000」を約 1 秒間表示して、その時点の圧力値を補正值「C_5」に記憶します。
- ・記憶された補正值により、設定値が補正されます。
- ・オートシフト入力直後から 5 ms 以内に設定値が補正された後、ディレー時間の設定値に従ってスイッチ出力が動作します。
- ・オートシフト入力時の測定圧が設定圧力範囲を超えた場合、補正值は記憶されずにサブ画面に「ASin o. r」を約 1 秒間表示します。
- ・オートシフト入力時の測定値が設定圧力範囲内で、オートシフトにより補正された設定値（応差含む）が設定圧力範囲を超える場合、設定値は設定圧力範囲上限または下限（近い方）に自動的に補正されます。（設定値が設定圧力範囲を超えてしまう圧力でオートシフト入力があった時のみ適用されます。設定値が設定圧力範囲内となる圧力で再度オートシフト入力があった場合、補正は解除され設定した設定値どおりに動作します。）
- ・「C_5」に記憶された補正值は、測定モード時のサブ画面に表示させることができます。（51 ページ「サブ画面表示について」参照）
- ・オートシフト入力後の補正值「C_5」は電源を切断すると消滅し、電源再投入時に「ゼロ」（イニシャル値）にリセットされます。



オートシフト入力使用時の設定可能範囲


レンジ	設定圧力範囲	設定可能範囲
連成圧用	-105.0~105.0 kPa	-210~210.0 kPa
正圧用	-0.105~1.050 MPa	-1.155~1.155 MPa
真空圧用	10.0~-105.0 kPa	-115.0~115.0 kPa

■ [F 6] 表示値微調整の設定

圧力表示値を手動で微調整する機能です。
±5%R. D. の範囲で調整できます。

<操作方法>

ファンクション選択モード時に、またはボタンを操作し、[F 6]を表示させてください。

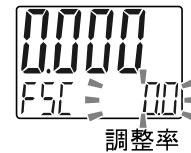
 ボタンを押します。↓ 表示値微調整の設定に移ります。


表示値微調整の設定

 または  ボタンを押して、調整率を変更します。

調整率を変更した場合、メイン画面に調整後の圧力値が表示されます。

調整後の圧力値



 ボタンを押して設定。↓ ファンクション選択モードに戻ります。

[F 6] 表示値微調整の設定完了

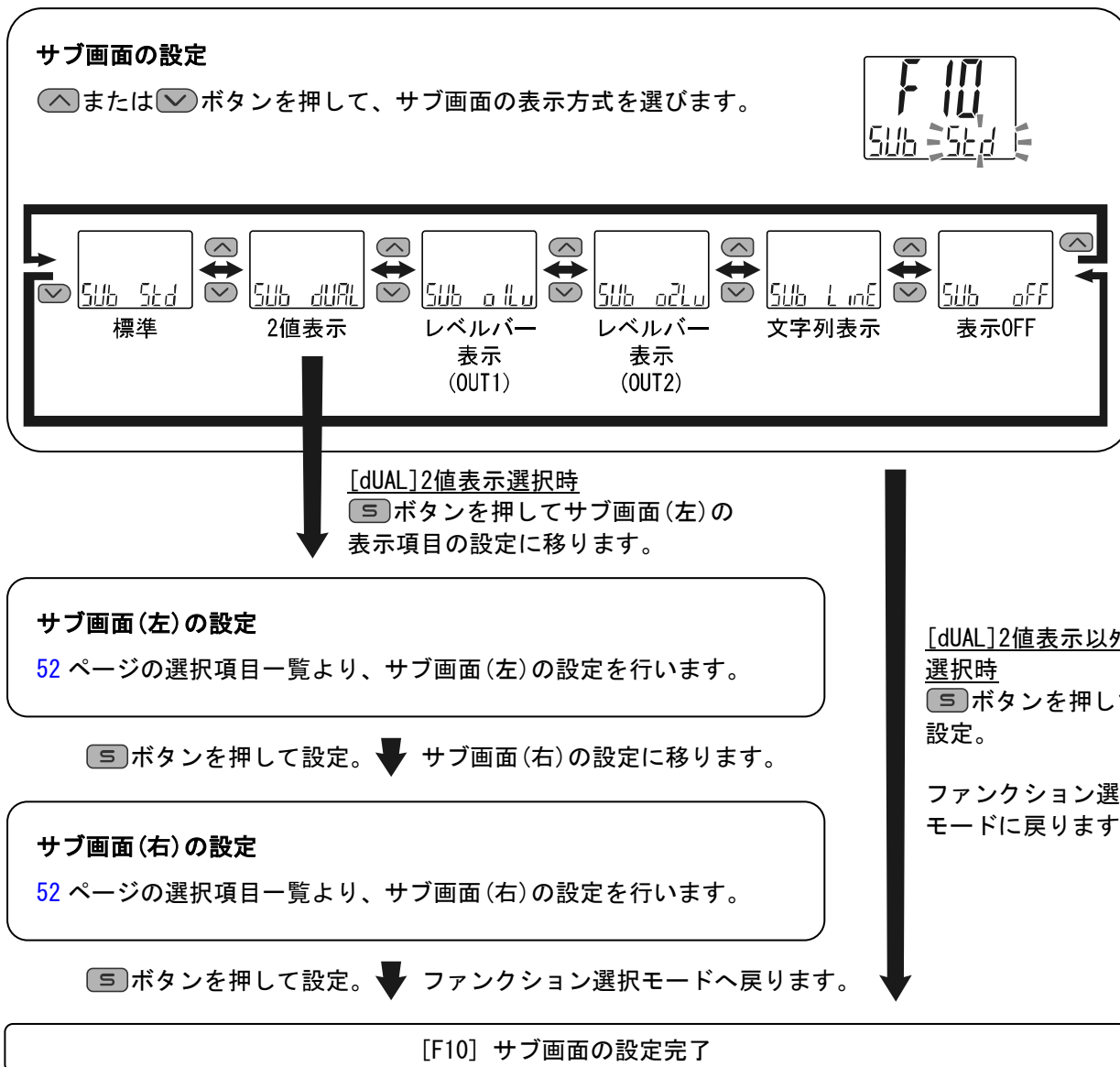
■ [F10] サブ画面の設定

サブ画面の表示方式を変更する機能です。

〈操作方法〉

ファンクション選択モード時に、**▲**または**▼**ボタンを操作し、[F10]を表示させてください。

S ボタンを押します。↓ サブ画面の設定に移ります。



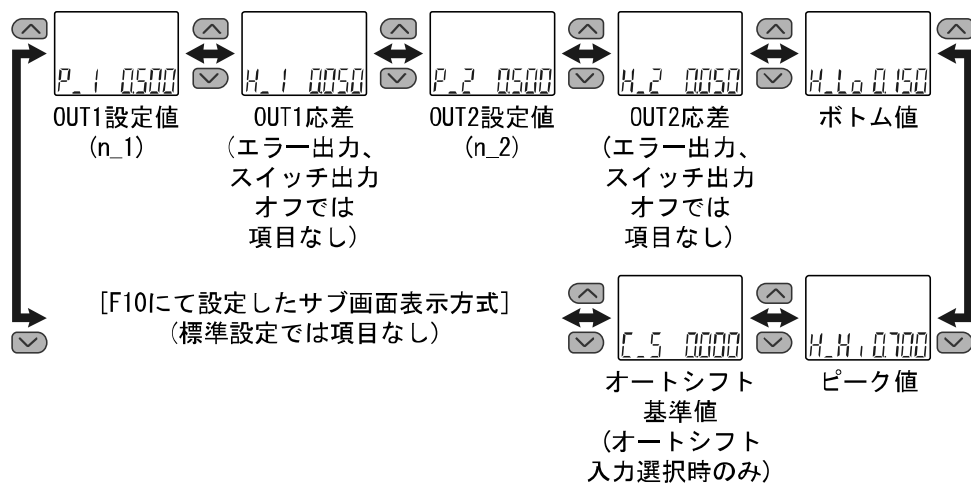
＜サブ画面表示について＞

・標準

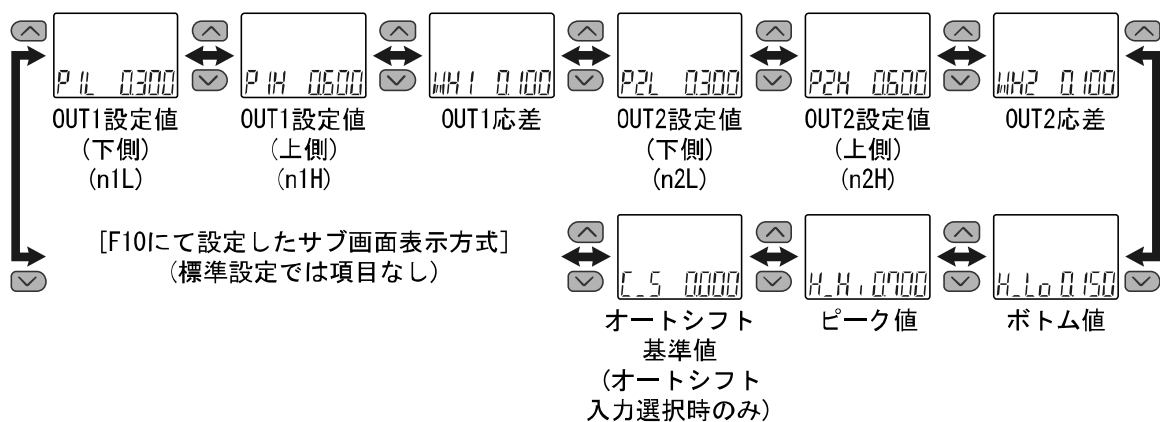
標準表示はサブ画面に表示項目とその値が表示されます。

表示させられる項目は出力モードの設定内容によって異なります。測定モードにて \triangleleft または \triangleright ボタンを操作して、表示させる項目を選んでください。

(ヒステリシスモード、エラー出力、スイッチ出力オフ)



(ウインドコンパレータモード)



・2値表示

2値表示はサブ画面左右それぞれに下記項目の内容を選択し表示する機能となります。

選択項目一覧

表示項目	内容	サブ画面表示選択		備考
		左側	右側	
P ₁ (n ₁)	OUT1ヒステリシスモード設定値	○	○	ヒステリシスモード選択時
H ₁	OUT1ヒステリシスモード応差	○	○	ヒステリシスモード選択時
P _{1L} (n _{1L})	OUT1ウインドコンパレータモード設定値 (下側)	○	○	ウインドコンパレータモード 選択時
P _{1H} (n _{1H})	OUT1ウインドコンパレータモード設定値 (上側)	○	○	ウインドコンパレータモード 選択時
WH ₁	OUT1ウインドコンパレータモード応差	○	○	ウインドコンパレータモード 選択時
P ₂ (n ₂)	OUT2ヒステリシスモード設定値	○	○	ヒステリシスモード選択時
H ₂	OUT2ヒステリシスモード応差	○	○	ヒステリシスモード選択時
P _{2L} (n _{2L})	OUT2ウインドコンパレータモード設定値 (下側)	○	○	ウインドコンパレータモード 選択時
P _{2H} (n _{2H})	OUT2ウインドコンパレータモード設定値 (上側)	○	○	ウインドコンパレータモード 選択時
WH ₂	OUT2ウインドコンパレータモード応差	○	○	ウインドコンパレータモード 選択時
H _{H1}	圧カピーク値	○	×	
H _{L0}	圧カボトム値	×	○	
C _S	オートシフト基準値	○	○	オートシフト入力選択時
Unit	圧力表示単位	○	○	
RRNG	定格圧力レンジ	○	○	
Mod1	OUT1出力モード・出力形態	○	×	
Mod2	OUT2出力モード・出力形態	×	○	
Line	任意の文字列	○	○	
off	表示OFF	○	○	

RAnG選択時の定格圧力レンジについては以下の表のように表示されます。

圧力レンジ	定格圧力	サブ画面表示文字
真空圧	-101.0 kPa	VACU
連成圧	100 kPa	CON1
正圧	1 MPa	POS1

Md1およびMd2選択時の出力モード・出力形態については以下の表のように表示されます。

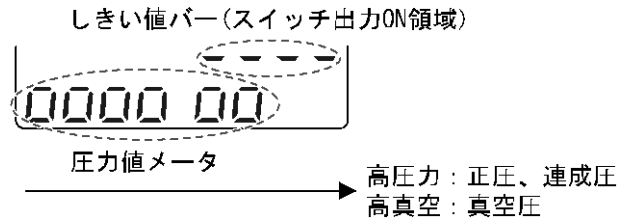
出力モード	出力形態	表示形式
ヒステリシスモード	正転	
	反転	
ウインドコンパレータモード	正転	
	反転	
エラー出力	正転/反転	
スイッチ出力オフ	-	

2値表示のときは、その画面から3ステップ設定はできません。
 (3ステップを設定する場合、またはボタンで個別の表示をさせてください。)

2値表示選択後に出力の動作モードを変更した場合、選択内容によっては表示項目が該当せずに[- -]表示になる場合があります。その際には、2値表示項目を選択しなおしてください。

・レベルバー表示

レベルバー表示は圧力値とスイッチ出力ON領域をサブ画面にて視覚的に表示する機能となります。



表示形式は出力モードの設定内容によって異なります。

(ヒステリシスモード、ウインドコンパレータモード時)

スイッチ出力ON領域を表すしきい値バーは、出力モードによって以下の表のように表示されます。

(エラー出力、出力オフ時)

しきい値バーの表示は行わず圧力値メータのみの表示となります。

出力モード	出力形態	しきい値バー表示形式
ヒステリシスモード	正転	P ₁
	反転	n ₁
ウインドコンパレータモード	正転	P1L P1H
	反転	n1L n1H
エラー出力	正転/反転	表示なし
スイッチ出力オフ	-	表示なし

レベルバーの表示分解能(レベル"o"1つ分の圧力値)は出力モードによって異なります。

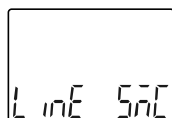
出力モード	表示分解能
ヒステリシスモード	P ₁ (n ₁)、P ₂ (n ₂)の1/10
ウインドコンパレータモード	P1H-P1L(n1H-n1L)、P2H-P2L(n2H-n2L)の1/4
エラー出力	正圧、真空圧：定格最大圧-大気圧の1/7 連成圧：定格最大圧-大気圧の1/4
スイッチ出力オフ	正圧、真空圧：定格最大圧-大気圧の1/7 連成圧：定格最大圧-大気圧の1/4

出力モードがエラー出力および出力オフ設定時の大気圧時の圧力値メータは、以下の表のように表示されます。

定格レンジ	大気圧での表示	
真空圧	0	or 00
連成圧	0000	or 0000 0
正圧	0	or 00

・文字列表示

文字列表示は任意の文字をサブ画面(右)に表示させる機能となります。
文字列の設定は[F82]ライン名入力で行います。



・表示 OFF


サブ画面を非表示にします。

■ [F11] 表示分解能の設定



圧力表示桁数を変更する機能です。
表示のちらつきを抑えることができます。

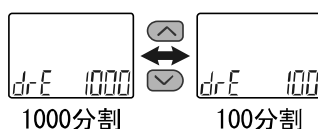
<操作方法>


ファンクション選択モード時に、またはボタンを操作し、[F11]を表示させてください。

 ボタンを押します。↓ 表示分解能の設定に移ります。

表示分解能の設定

またはボタンを押して、表示分解能を選びます。



 ボタンを押して設定。↓ ファンクション選択モードに戻ります。

[F11] 表示分解能の設定完了

※：選択する圧力単位によっては選択できない恐れがあります。

表示分解能選択可能単位は、[MPa]/[kPa (ZSE20B (F) のみ)]/[kgf/cm²]/[bar]/[psi]/[inHg]となります。
([kgf/cm²]/[bar]/[psi]/[inHg])は、単位切換機能付製品をご使用の場合に設定できます。



➡ 38ページ [F 0] 単位切換機能


■ [F80] 省電力モードの設定

省電力モードの選択ができます。



30秒間ボタン操作をしないと省電力モードへ移行する機能です。

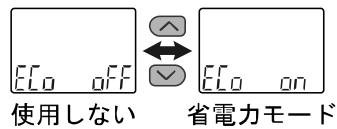
<操作方法>


ファンクション選択モード時に、またはボタンを操作し、[F80]を表示させてください。

 ボタンを押します。↓ 省電力モードの設定に移ります。

省電力モードの設定

 または  ボタンを押して、省電力モードを選びます。

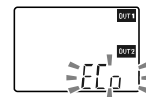


 ボタンを押して設定。↓ ファンクション選択モードに戻ります。

[F80] 省電力モードの設定完了

省電力モードは、キー操作を行うことで通常表示になり、キー操作が 30 秒間ない場合は、省電力モードに戻ります。(測定モード時のみ)

省電力モード中の表示は、サブ画面表示[ECo]の点滅および動作表示灯(スイッチON時のみ)が点灯して表示されます。



スイッチON時




スイッチOFF時

■ [F81] 暗証番号の入力の設定



キーロック解除時に、暗証番号の入力有無の選択および暗証番号の設定変更できます。

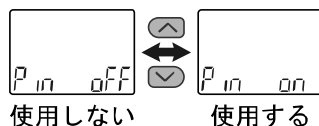
〈操作方法〉

ファンクション選択モード時に、またはボタンを操作し、[F81]を表示させてください。


 ボタンを押します。↓ 暗証番号の入力の設定に移ります。

暗証番号の入力の設定

 または  ボタンを押して、暗証番号の入力を選びます。





[on] (使用する) 選択時

 ボタンを押して設定。

↓ 暗証番号の設定確認に移ります。


暗証番号の設定確認

 または  ボタンを押して、サブ画面(右)に設定した暗証番号を入力します。(工場出荷時は[000]に設定されています。)*
入力方法は、暗証番号入力/変更方法(72 ページ)を参照ください。



暗証番号が正しくない場合、メイン画面に[FAL]を表示し、再度暗証番号入力が要求されます。
暗証番号を3回間違えると[nG]を表示し、ファンクション選択モードへ戻ります。

[oFF] (使用しない) 選択時

 ボタンを押してファンクション選択モードに戻ります。

↓ 暗証番号の設定変更に移ります。

暗証番号の設定変更

▲または▼ボタンを押して、メイン画面に変更したい暗証番号を入力します。＊
入力方法は、暗証番号入力/変更方法(72 ページ)を参照ください。



入力完了後は[S]ボタンを1秒押すと設定変更した暗証番号が点滅します。

(この段階では暗証番号変更は完了していません。)
▲または▼ボタンを押すと再度設定変更に戻ります。



[S]ボタンを1秒押して設定。▼ファンクション選択モードへ戻ります。

[F81] 暗証番号の入力の設定完了

暗証番号入力ありを選択の場合、キーロックを解除する場合に暗証番号の入力が必要となります。

※：暗証番号入力時に30秒以上操作がない場合は、ファンクション選択モードに戻ります。


■ [F82] ライン名入力設定

サブ画面上に任意の文字列を表示できる機能です。



測定モードで表示するには、[F10]サブ画面の設定にて2値表示[dUAL]、または文字列表示[LinE]を選択してください。


<操作方法>


ファンクション選択モード時に、またはボタンを操作し、[F82]を表示させてください。

 ボタンを押します。↓ ライン名入力の設定に移ります。

ライン名入力の設定

またはボタンを押して、サブ画面(右)に表示しているライン名を入力します。


 ボタンを押すと1つ下の桁の文字が点滅しますので同様にライン名を入力します。

(最下位桁で ボタンを押した場合は、左の最上位桁に戻って点滅します。)

表示文字はA→b→・・・→Y→(Z)→0→1→・・・→9→記号→スペースの順序となります。


(表示可能な文字は左1桁と右3桁では異なります。)

とボタンを同時に押し続けるとドット(小数点)が付加/消去されます。

 ボタンを1秒以上長押しすると、設定したライン名全体が点滅します。

(この段階ではライン名設定は完了していません。)



 ボタンを押して設定。↓ ファンクション選択モードに戻ります。

[F82] ライン名入力の設定完了

・各桁の表示可能文字は以下のようになります

(右3桁表示パターン)

Q、X、Zと記号の一部(スラッシュ(/)、アスタリスク(*))は表示できません。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	R	S	T	U	V	W	Y
A	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	r	s	t	u	v	w	y
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	記号	スペース(ドット)											
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	-	.											

(左1桁表示パターン)

A~Zを表示することができます。また、右3桁と同じ表示パターンを表示することもできます。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
A	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	記号						K	M	N	R	V	W	スペース(ドット)			
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	-	.	/	#	A	n	r	u								.


●特殊機能の設定

■ [F90] 全ファンクションの設定



全機能を一連で設定できます。

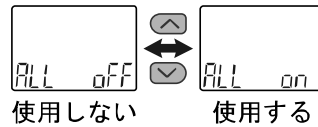
〈操作方法〉

ファンクション選択モード時に、またはボタンを操作し、[F90]を表示させてください。


 ボタンを押します。↓ 全ファンクションの設定に移ります。

全ファンクションの設定

またはボタンを押して、全ファンクションを選びます。




[oFF] (使用しない) 選択時

 ボタンを押して設定。


ファンクション選択モードに戻ります。

[on] (使用する) 選択時

各ファンクションの設定 ※

[oFF] (使用しない)に戻してから
 ボタンを押して設定。


ファンクション選択モードに戻ります。



 ボタンを
2秒以上押す

[F90] 全ファンクションの設定完了

測定モード

※：各ファンクションの設定

 ボタンを押す毎に、62 ページの各ファンクション設定の順番に移ります。

 および  ボタンで設定を行ってください。

設定の方法および内容の詳細は、各ファンクションの項目を参照ください。

●各ファンクションの設定

順番	ファンクション
1	表示単位の選択
2	OUT1の設定
3	OUT2の設定
4	デジタルフィルタの設定
5	オートプリセット機能の設定
6	FUNC端子の設定
7	表示値微調整の設定
8	サブ画面の設定
9	表示分解能の設定
10	省電力モードの設定
11	暗証番号の入力の設定
12	ライン名入力設定

※：どの項目からでも **S** ボタンを2秒以上押すと測定モードに戻ります。

※：測定モードに戻るまでに設定したファンクションは記憶されます。

■ [F96] 入力信号確認

オートシフト入力設定時にFUNC端子の入力状態を確認することができます。

<操作方法>

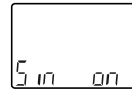
ファンクション選択モード時に、またはボタンを操作し、[F96]を表示させてください。

入力信号確認

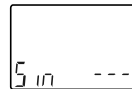
サブ画面に現在の入力状態が表示されます。





入力信号なし




入力信号あり



対応機能なし

またはボタンを押す。

ファンクション選択モードに戻ります。

ボタンを2秒以上押す。

[F96] 入力信号確認終了

測定モード

■ [F97] コピー機能の選択

設定値をコピーすることができます。圧力設定値、機能の設定値(表示値微調整値、ライン名を除く)がコピーされます。圧力レンジ、出力仕様、単位仕様が同一の場合にコピーが可能です。10台まで、同時にコピーすることができます。

〈接続〉

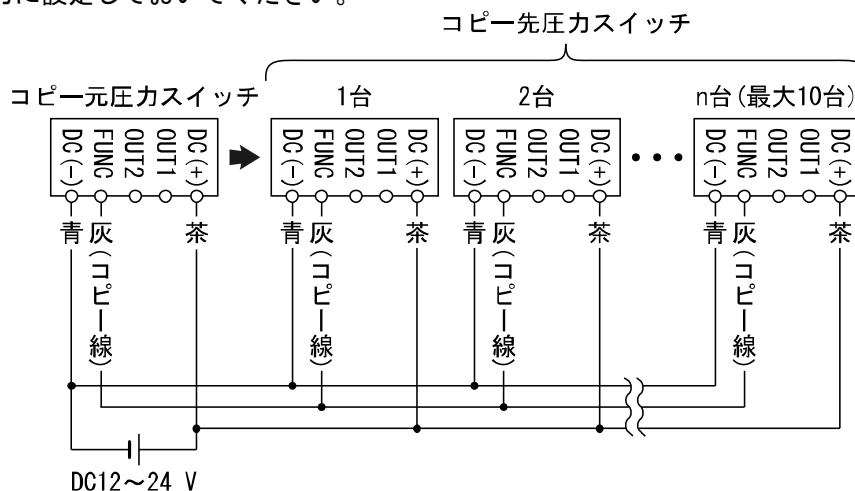
電源をOFFしてから接続してください。

コピー元圧カスイッチとコピー先圧カスイッチのFUNC端子を接続し、電源をONにしてください。

コピー元圧カスイッチとは、コピー元の圧カスイッチを指します。

コピー先圧カスイッチとは、コピー先の圧カスイッチを指します。

コピー先圧カスイッチの出力仕様がR、S、T、Vの場合は、あらかじめ[F 5]FUNC端子の設定(47ページ)でコピー入力に設定しておいてください。



〈操作方法〉

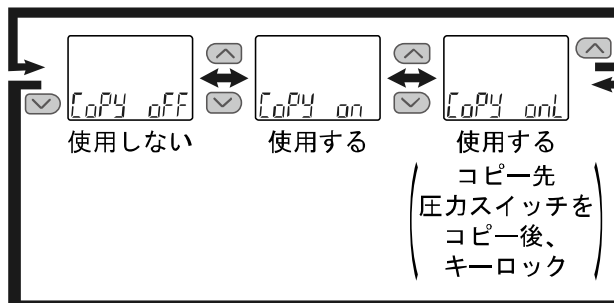
コピー元圧カスイッチを、ファンクション選択モード時に、 または ボタンを操作し、[F97]を表示させてください。

ボタンを押します。↓ コピー機能の選択に移ります。

コピー機能の選択

または ボタンを押して、コピー機能を選びます。

F97
COPY OFF



[oFF] (使用しない) 選択時

ボタンを押して設定。

ファンクション選択モードに戻ります。

[on] (使用する) 選択時

[onL] (使用する) 選択時

ボタンを押して設定。

コピー準備状態に移ります。

コピー準備状態



コピー準備状態

電源を OFF してもコピー準備状態が保持されます。

S ボタンを押してコピー開始。↓

	コピー元圧カスイッチ	コピー先圧カスイッチ
送受信中	メイン画面：赤	メイン画面：緑
コピー完了	メイン画面：赤	・正常完了時 メイン画面：緑
		・異常時 メイン画面：赤

(コピー元)

S ボタンを押します。

連続コピーができます。
電源を OFF してもコピー準備状態が保持されます。



コピー準備状態

コピー機能を終了させるときは、
△ と **▽** ボタンを同時に 1秒以上 押します。

[F97] コピー機能の設定完了

(コピー元)

△ と **▽** ボタンを同時に 1秒以上 押します。

(コピー先)

正常完了時
S ボタンを押します。

測定モード

※：コピー先圧カスイッチが[Er13]を表示した場合、コピー機能の送受信エラーです。**△** と **▽** ボタンを同時に 1秒以上 押し続けると測定モードに戻ります。配線および仕様を確認し、再度コピー機能操作を行ってください。

※：アナログ出力を使用する様にコピーしたい場合、コピー元圧カスイッチのFUNC端子の設定をAoutにし、コピーを実施してください。コピー先圧カスイッチはコピー完了後、FUNC端子の設定はAoutになります。

■ [F98] 出力確認

スイッチの出力動作を確認することができます。
出力を任意にON/OFFさせることができます。

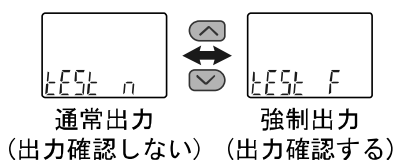
<操作方法>

ファンクション選択モード時に、またはボタンを操作し、[F98]を表示させてください。


 ボタンを押します。↓ 出力確認に移ります。

出力確認

またはボタンを押して、出力確認を選びます。




[F] (強制出力) 選択時

 ボタンを押して設定。



↓ OUT1出力確認に移ります。

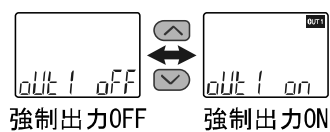
[n] (通常出力) 選択時

 ボタンを押して設定。

ファンクション
選択モードに
戻ります。

OUT1出力確認

またはボタンを押して、OUT1 出力確認を選びます。



 ボタンを押します。↓ OUT2出力確認に移ります。

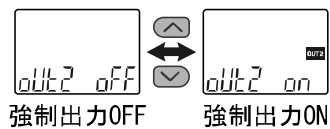
[n] (通常出力)
選択時
S ボタンを
押して設定。

ファンクション
選択モードに
戻ります。

OUT2出力確認

△ または ▽ ボタンを押して、
OUT2 出力確認を選びます。

F98
out2 off



S ボタンを押し、
[n] (通常出力)に
戻してから
S ボタンを押して
設定。

ファンクション選択
モードに戻ります。

S ボタンを
2秒以上押す。

[F98] 出力確認の設定完了

測定モード


※：どの項目からでも S ボタンを2秒以上押すと測定モードに戻ります。

■ [F99] 出荷状態への復帰



製品がどのような状態に設定されているか不明になってしまった際に、当社出荷状態へ戻すことができます。

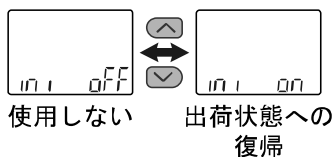
<操作方法>

ファンクション選択モード時に、またはボタンを操作し、[F99]を表示させてください。


 ボタンを押します。↓ 出荷状態への復帰に移ります。

出荷状態への復帰

または ボタンを押して、出荷状態への復帰を選びます。





[oFF] (使用しない) 選択時

 ボタンを押して設定。

ファンクション選択モードに戻ります。

[on] (出荷状態への復帰) 選択時

 と  ボタンを同時に5秒以上押してください。



出荷状態へ復帰し、ファンクション選択モードに戻ります。

[F99] 出荷状態への復帰の設定完了

その他の設定

○スナップショット機能

現在の圧力値をスイッチ出力 ON/OFF 点に設定することができます。

3ステップ/簡易/ファンクション選択モード([F 1]OUT1 の設定、[F 2]OUT2 の設定)にてサブ画面(左)表示を下記項目に選択時、とボタンを同時に1秒以上長押しするとサブ画面(右)の設定値が[- - -]と表示され、自動的に現在の圧力値に応じた値となります。

出力モード	設定項目	サブ画面(左)表示	スナップショット使用
ヒステリシスモード	OUT1、OUT2 設定値	P_{-1} (n_{-1})、 P_{-2} (n_{-2})	○
	応差	H_{-1} 、 H_{-2}	○
ウインドコンパレータモード	OUT1、OUT2 設定値	P_{HL} (n_{HL})、 P_{HH} (n_{HH}) P_{2L} (n_{2L})、 P_{2H} (n_{2H})	○
	応差	$WH1$ 、 $WH2$	×

・OUT1 設定値および OUT2 設定値

表示値(現在の圧力値)と同値に設定されます。

(応差の値によっては現在の圧力値に設定することができない範囲があります。その場合は最も近似した値に設定されます。)



・応差

応差は下記の計算式で算出し、設定されます。

正転出力の場合：(OUT1 (2) 設定値) - (現在の圧力値)



反転出力の場合：(現在の圧力値) - (OUT1 (2) 設定値)

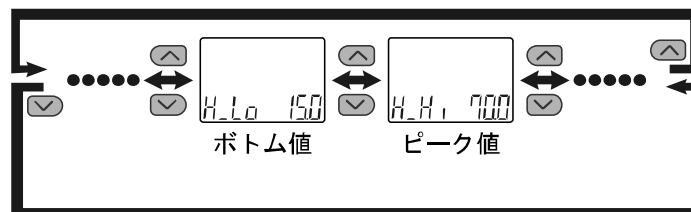
計算式の結果が0以下となった場合、サブ画面(右)に[Err]と表示され設定値は変更されません。

設定後、、ボタンを押すことによる再調整も可能です。



○ピーク値/ボトム値表示機能

電源投入状態での最高(最低)圧力を検知して更新しています。ピーク値(ボトム値)表示モードでは、その圧力を表示します。

測定モード時にまたはボタンを押して、サブ画面(左)を以下のように切替えます。メイン画面の現在圧力値と同時にピーク値/ボトム値をサブ画面(右)に表示することができます。





ピーク値/ボトム値は、電源が切断されても保存されます。

ピーク値/ボトム値を表示中にとボタンを同時に1秒以上押し続けると、サブ画面(右)が[- - -]と表示され、最高(最低)圧力値はクリアされます。

○ゼロクリア機能

測定する圧力が工場出荷状態より±7%F.S.(連成圧用は±3.5%F.S.)の範囲内において、表示値をゼロに調整することができます。

(製品個体差により、±1%F.S.ゼロクリアの範囲が異なります)

測定モードにてとボタンを同時に1秒以上押し続けると、メイン画面が[- - -]と表示され、表示値がゼロにリセットされます。自動的に測定モードに戻ります。

○キーロック機能

誤って設定値をかえてしまうなどの、誤操作を防止することができます。キーロック設定時に **S** ボタンを押すと、サブ画面(左)に [LoC] を 1 秒間 表示します。

(**▲**と**▼**ボタンで各設定値、ピーク値/ボトム値を表示することはできます。その場合、30 秒後にキーロック時のサブ画面に戻ります。)

〈操作方法 -暗証番号なしの場合-〉

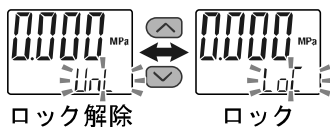
①測定モード時に **S** ボタンを 5秒以上 押し続け、メイン画面に [oPE] が表示されたらボタンを離してください。

サブ画面に現在の設定 [LoC] または [UnL] が表示されます。

(ロック解除時も同様の方法で行います。)



② **▲** または **▼** ボタンを押して、ロック/ロック解除を選んだ後、**S** ボタンを押すと設定されます。

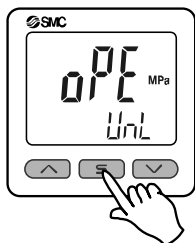


＜操作方法 -暗証番号ありの場合-＞

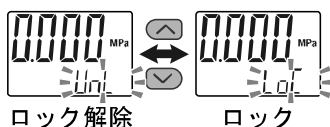
・ロック設定

①測定モード時に **[S]** ボタンを5秒以上押し続け、メイン画面に[oPE]が表示されたらボタンを離してください。

サブ画面に現在の設定[LoC]または[UnL]が表示されます。



② **[^]** または **[v]** ボタンを押して、ロック [LoC] を選んだ後、**[S]** ボタンを押すと設定されます。



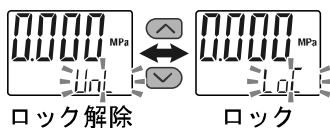
・ロック解除

①測定モード時に **[S]** ボタンを5秒以上押し続け、メイン画面に[oPE]が表示されたらボタンを離してください。

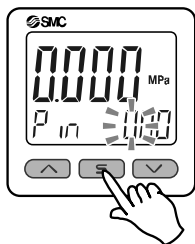
サブ画面に現在の設定[LoC]または[UnL]が表示されます。



② **[^]** または **[v]** ボタンを押して、ロック解除 [UnL] を選んだ後、**[S]** ボタンを押すと設定され、暗証番号入力が要求されます。



③入力方法は、暗証番号入力/変更方法 (72ページ) を参照ください。



④暗証番号が正しければ、メイン画面の表示が[UnL]となり、**[^]**、**[S]**、**[v]** ボタンのいずれかを押すと、キーロックが解除され、測定モードに戻ります。

暗証番号が正しくない場合、[FAL]を表示し、再度暗証番号入力が要求されます。暗証番号を3回間違えると、[LoC]を表示し、測定モードへ戻ります。

●暗証番号入力/変更方法

左の桁が点滅します。

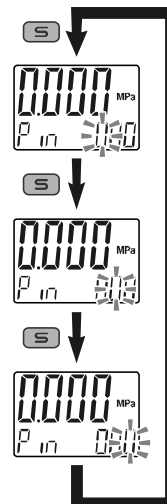
▲または▼ボタンを押して、数値を設定します。

⏏ボタンを押すと、1つ下の桁の数値が点滅します。

(最下位で⏏ボタンを押した場合は、左の桁が点滅します。)

入力完了後は⏏ボタンを1秒以上押し続けてください。

(暗証番号入力/変更操作時に、30秒以上操作がない場合は、測定モードへ戻ります。)



保守

停電や通電が強制的に遮断された場合の復帰方法

設定に関しては、停電以前の状態に保持されています。

本製品の出力状態は、基本的に停電以前の状態で復帰しますが、ご使用の環境により変化する恐れがありますので、ご使用設備全体の安全を確認した後、操作してください。

詳細な管理をしている場合は、ウォーミングアップ(約10～15分)を実施した後、ご使用ください。

暗証番号を忘れた場合

暗証番号を忘れた場合は、当社にお問合せください。

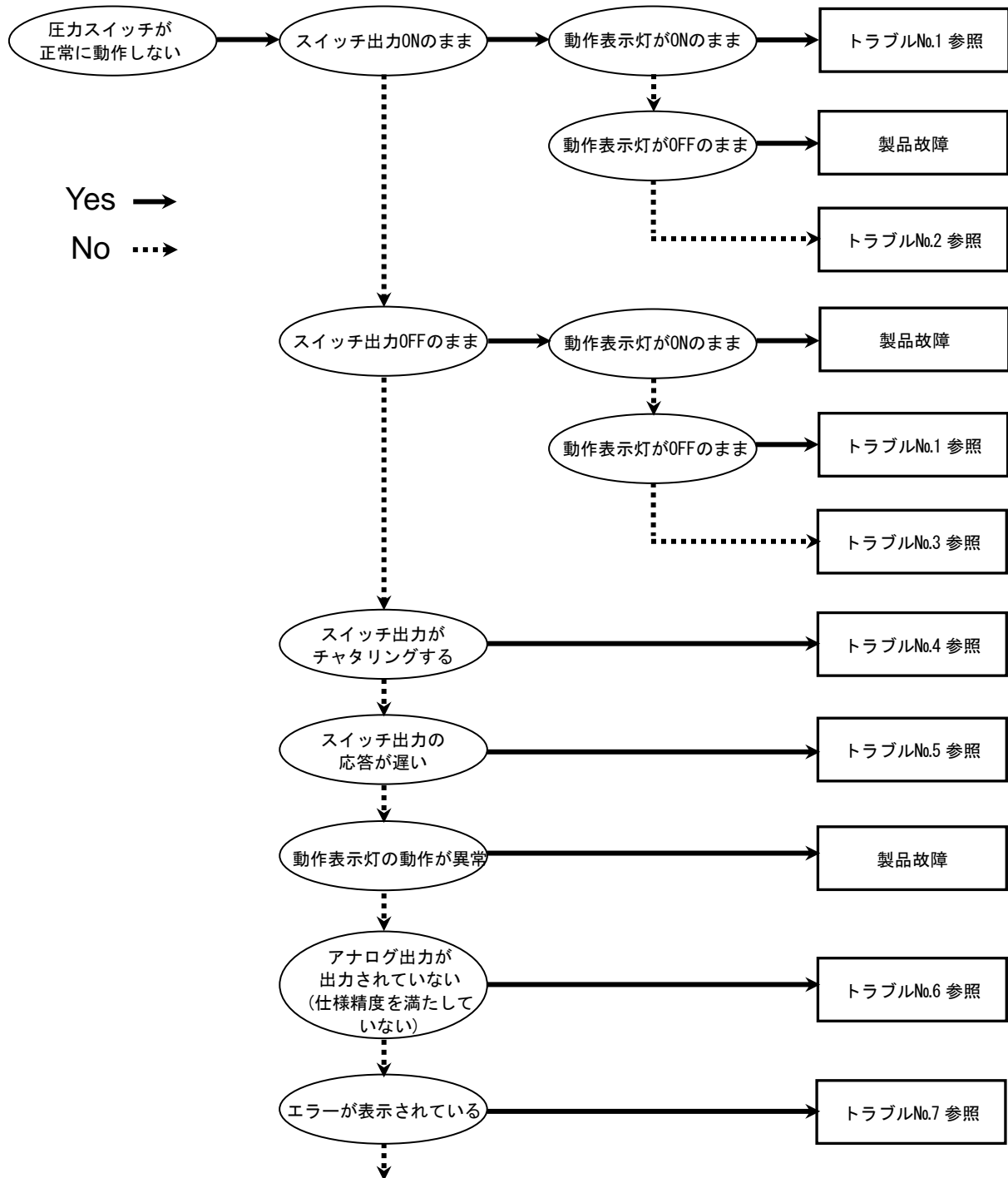
トラブルシューティング

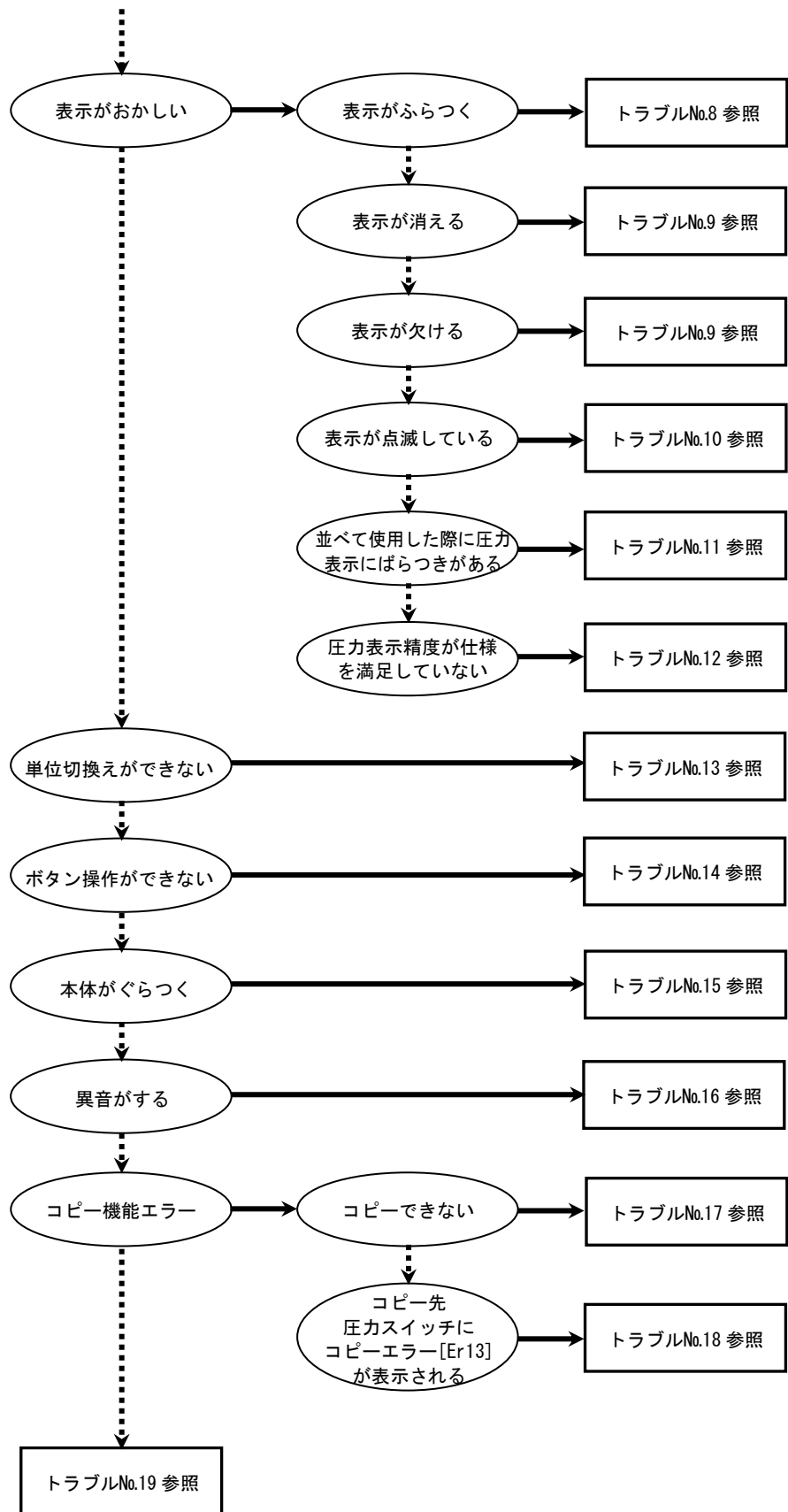
○トラブルシューティング

適用圧カスイッチ：ZSE20B (F)/ISE20B

製品において誤動作が発生した場合は、以下のフローチャートでトラブル現象を選択してください。

トラブル現象に該当する原因が確認されず、製品交換後に正常動作する場合は、製品の故障が考えられます。製品の故障発生は、ご使用環境(ネットワーク構成等)により発生する場合がありますので、その場合の対策内容は別途ご相談ください。





○トラブル対応方法一覧表

トラブル No.	トラブル現象	トラブル内容 推定原因	原因の調査方法	対策
1	・出力 ON のまま 動作表示灯 ON のまま ・出力 OFF のまま 動作表示灯 OFF のまま	圧力設定間違い	①圧力設定の確認。 ②設定にて動作モード、応差、出力形態の確認。 (ヒステリシスモード/ウインドコンパレータモード、正転出力/反転出力)	①圧力設定を再度行ってください。 ②機能の設定を再度行ってください。
		製品故障		製品交換。
2	出力 ON のまま 動作表示灯正常	誤配線	出力線配線の確認。 負荷が直接 DC (+) または DC (-) に接続されていないかの確認。	正しい配線を行ってください。
		製品故障		製品交換。
3	出力 OFF のまま 動作表示灯正常	誤配線	出力線配線の確認。 負荷が直接 DC (+) または DC (-) に接続されていないかの確認。	正しい配線を行ってください。
		機種選定	NPN 仕様を使用したつもりが PNP 仕様を使用していないかの確認 またはこれの逆。	機種選定 (出力仕様) の見直しを行ってください。
		リード線断線	リード線の一定箇所への曲げ応力の有無。 (曲げ半径・リード線への引張力)	配線を修正してください。 (引張力の補正・曲げ半径を大きくする)
		製品故障		製品交換。
4	スイッチ出力が チャタリングを 起こす	誤配線	配線の確認。 茶線に DC (+)、青線に DC (-) が接続されているか、出力線が外れかけていないか (接触不良) を確認。	正しい配線で再度接続しなおしてください。
		圧力設定間違い	①圧力設定の確認。 ②応差の範囲が小さくないかを確認。 ③ディレー時間の設定確認。 ディレー時間が短すぎないかを確認。	①圧力設定を再度行ってください。 ②応差を広げてください。 ③機能の設定を再度行ってください。
		製品故障		製品交換。

トラブル No.	トラブル現象	トラブル内容 推定原因	原因の調査方法	対策
5	スイッチ出力の応答が遅い	圧力設定間違い	圧力設定の確認。 検出圧力に対し圧力設定値が同じ(近い)数値になっているかを確認。	圧力設定を再度行ってください。圧力設定値を検出圧力から離してください。
6	アナログ出力が出力されない (仕様精度を満足しない)	誤配線	アナログ出力線に負荷が接続されているか確認。	正しい配線を行ってください。
		負荷仕様とのミスマッチ	①正しい負荷が接続されているか確認。 ②入力機器(A/D変換器等)の入力インピーダンスが適正か確認。	正しい負荷を接続してください。
		ウォーミングアップ不十分	製品に電源投入後 10 分以降にて仕様精度を満足しているかを確認。	電源投入後は表示および出力のドリフトが発生します。微小な圧力を検出する場合は 10~15 分間ウォーミングアップを行ってください。
		製品故障		製品交換。

トラブル No.	トラブル現象	トラブル内容 推定原因	原因の調査方法	対策	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・過電流エラー (Er1, 2) が表示される ・データエラー (Er0, 4, 6, 7, 8, 9) が表示される ・コピーエラー (Er13) が表示される ・表示が“HHH”になっている ・表示が“LLL”になっている ・残圧エラー (Er3) が表示される 	出力に過電流が流れている (Er1, 2)	<ul style="list-style-type: none"> ①出力に 80 mA 以上の電流が流れていないかどうかを確認。 ②仕様通りの負荷が接続されているかを確認。負荷短絡になっていないかを確認。 ③サージ保護なしのリレーを接続されていないかどうかを確認。 ④高圧線等の電力線と一緒に(束ねて)配線をしていないか確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ①、②仕様通りの負荷を接続してください。 ③サージ保護付のリレーを使用するか、ノイズ対策を行ってください。 ④高圧線等の電力線と一緒に配線を行わないようにしてください。 	
		製品内部のデータが正常に処理されなかった (Er0, 4, 6, 7, 8, 9)	<ul style="list-style-type: none"> ①静電気などのノイズ印加の可能性がないかどうかを確認。ノイズ発生源がないかどうかを確認。 ②電源電圧が DC12~24 V±10%であることを確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ノイズおよびノイズ発生源を取除き(ノイズ対策をし)リセット、もしくは電源を切り再度電源を投入してください。 ②電源電圧は DC12~24 V±10%を供給してください。 	
		コピー機能が正常に動作しなかった (Er13)	トラブル No. 18 参照		
		印加圧力が上限値を超えている (HHH)	<ul style="list-style-type: none"> ①設定圧力範囲の上限を超えた圧力が加わっていないかどうかを確認。 ②配管内部に異物の浸入がなかったか確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ①圧力を設定圧力範囲以内に戻してください。 ②配管内への異物侵入を防ぐよう対策を行ってください。 	
		印加圧力が下限値を越えている (LLL)	<ul style="list-style-type: none"> ①設定圧力範囲の下限を超えた圧力が加わっていないかどうかを確認。 ②配管内部に異物の侵入がなかったか確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ①圧力を設定圧力範囲以内に戻してください。 ②配管内への異物侵入を防ぐよう対策を行ってください。 	
		ゼロクリア操作時に圧力が大気圧になっていない (Er3)	大気圧と比較して±7%F. S. (連成圧用は±3.5%F. S.) を超えた圧力が加わっていないかどうか確認。	加わっている圧力を大気圧状態に戻し、ゼロクリア操作を行ってください。	
		製品故障	製品交換。		

トラブル No.	トラブル現象	トラブル内容 推定原因	原因の調査方法	対策
8	表示がふらつく	供給電源の間違い	電源電圧が DC12~24 V±10%であることを確認。	電源電圧は DC12~24 V ±10%を供給してください。
		誤配線	電源配線の確認。 茶線に DC (+)、青線に DC (-) が接続されているか、配線が外れかかっているかを確認。	正しい配線を行ってください。
		元圧変動	元圧が変動していないか確認。	ふらつきが気になる場合には、表示分解能の設定により、表示桁数を変更することができます。また、デジタルフィルタの設定でも改善が可能な場合もあります。
9	・表示が消える ・表示が欠ける	供給電源の間違い	電源電圧が DC12~24 V±10%であることを確認。	電源電圧は DC12~24 V ±10%を供給してください。
		誤配線	電源配線の確認。 茶線に DC (+)、青線に DC (-) が接続されているか、配線が外れかかっているかを確認。	正しい配線を行ってください。
		省電力モード	設定にて省電力モードになっていないかを確認。	機能の設定を再度行ってください。
		製品故障		製品交換。
10	表示が点滅する	配線不良	①電源配線の確認。 ②リード線の一定箇所への曲げ応力の有無。	①正しい配線を行ってください。 ②配線(曲げ半径、応力)を修正してください。
11	並べて使用すると圧力表示がばらつく	精度範囲におけるバラツキ	バラツキが表示精度範囲内であることを確認。	表示精度範囲内であれば微調整モードを使用し表示を調整してください。
		製品故障		製品交換。

トラブル No.	トラブル現象	トラブル内容 推定原因	原因の調査方法	対策
12	圧力表示精度が仕様を満足していない	異物侵入があった	配管ポートへの異物侵入/付着を確認。	異物侵入/付着がないように5 μmのフィルタを通してください。またフィルタには、ドレン溜まらないように、定期的に排出してください。
		エア漏れ、液漏れが発生している	配管などからのエア漏れ、液漏れを確認。	配管作業を再度行ってください。締付トルク範囲を越えて締付けた場合、取付ねじ、取付金具、スイッチ等が破損する恐れがあります。
		ウォーミングアップ不十分	製品に電源投入後10分以降にて仕様精度を満足しているかを確認。	電源投入後は表示および出力のドリフトが発生します。微小な圧力を検出する場合は10~15分間のウォーミングアップを行ってください。
		製品故障		製品交換。
13	単位の切換えができない	機種選定 (単位切換機能がないものを選択している)	製品に印字されている品番が単位切換機能付であるかどうかを確認。	SI 単位固定は、単位切換はできません。 (kPa⇔MPaは選択可) ※：新計量法により、日本国内で単位切換機能付を使用することができません。 ※：SI 単位固定：kPa, MPa
		製品故障		製品交換。
14	ボタン操作ができない	キーロックモードになっている	キーロックモードになっていないかどうかを確認。	キーロックモードを解除してください。
		製品故障		製品交換。
15	本体がぐらつく	設置の不備	パネルマウントアダプタのツメに本体が引っかかっていることを確認。	パネルマウントに正しく取付けを行ってください。
		製品故障		製品交換。
16	異音がする	エア漏れ、液漏れが発生している	配管などからのエア漏れ、液漏れを確認。	配管作業を再度行ってください。締付トルク範囲を越えて締付けた場合、取付ねじ、取付金具、スイッチ等が破損する恐れがあります。
		製品故障		製品交換。
17	・コピー機能エラー ・コピーできない	誤配線	①FUNC 端子の接続を確認。 ②電源配線の確認。	正しい配線を行ってください。
		製品故障		製品交換。

トラブル No.	トラブル現象	トラブル内容 推定原因	原因の調査方法	対策
18	コピー先圧カス スイッチにコピーエ ラー (Er13) が表 示される	誤配線	①FUNC 端子の接続を確認。 電源配線の確認。 ②リード線長の確認。	①正しい配線を行ってくだ さい。 ②コピー機能の最大伝送距 離は 4 m です。 リード線を 4 m 以下にして ください。
		機種間違い	コピー元圧カススイッチとコピー先圧 カススイッチの機種が異なる。	機種を確認してください。 圧カレンジ、出力仕様、単位 仕様が同一の場合にコピー が可能です。
		接続台数エラー	コピー先圧カススイッチの接続台数を 確認してください。	同時にコピーが可能な接続 台数は 10 台までです。 コピー先圧カススイッチの接 続台数を 10 台以下にしてく ださい。
		製品故障		製品交換。
19	動作不安定 (チャタリング)	応差が小さいか、 スイッチのディ レイ時間が早ず ぎるため、元圧変 動等による影響 を受けている	①設定圧力(応差)を確認。 ②ディレイ時間を確認。	①圧力設定を確認してくだ さい。 ②機能の設定を再度行っ てください。
		配線不良/ リード線の断線	①電源配線の確認。 ②リード線の一定箇所への曲げ応力 の有無。 (曲げ半径・リード線への引張力)	①正しい配線を行ってくだ さい。 ②配線を修正してください (引張力の補正・曲げ半径 を大きくする)
		製品故障		製品交換。

○エラー表示機能

異常やエラーが発生したときに、誤りの箇所や種類を表示します。

エラー名称	エラー表示	内容	処置方法
過電流エラー	 、 	スイッチ出力の負荷電流が 80 mA 以上流れています。	電源を切断して、過電流が発生した出力の要因を取除き再度電源を投入してください。
残圧エラー		ゼロクリア操作時、±7%F.S. (連成圧用は±3.5%F.S.) を越えた圧力が加えられています。ただし、1秒後に自動的に測定モードに復帰します。 製品個体差により、±1%F.S. ゼロクリアの範囲が異なります。	加えられている圧力を大気圧状態にしてから再度ゼロクリア操作を行ってください。
加圧エラー		設定圧力範囲の上限を超えた圧力が加えられています。	加えられている圧力を設定圧力範囲内に戻してください。
		設定圧力範囲の下限を超えた圧力が加えられています。	
システムエラー	 、   、   、 	内部データエラーの場合、表示されます。	電源を切断し、再度電源を投入してください。 復帰しない場合は、当社での調査が必要となります。
コピーエラー		コピー機能が正常に動作していません。	 と  ボタンを同時に 1 秒以上押してエラーをクリアした後に配線、機種等を確認して再度コピーを行ってください。

上記処置方法を行っても復帰しない場合や、上記以外エラー表示が発生した場合には、当社での調査が必要となります。

仕様

仕様表

型式		ZSE20B (真空圧)	ZSE20BF (連成圧)	ISE20B (正圧)	
適用流体		空気・非腐食性ガス・不燃性ガス			
圧力仕様	定格圧力範囲	0.0~-101.0 kPa	-100.0~100.0 kPa	-0.100~1.000 MPa	
	表示/設定圧力範囲	10.0~-105.0 kPa	-105.0~105.0 kPa	-0.105~1.050 MPa	
	表示/設定最小単位	0.1 kPa		0.001 MPa	
	耐圧力	500 kPa		1.5 MPa	
電源仕様	電源電圧	DC12~24 V±10% リップル(p-p)10%以下			
	消費電流	35 mA 以下			
	保護	逆接続保護			
精度	表示精度	±2%F.S. ± 1digit (周囲温度 25±3 °C時)			
	繰返し精度	±0.2%F.S. ±1 digit			
	アナログ出力精度	±2.5%F.S. (周囲温度 25±3 °C時)			
	アナログ出力直線性	±1%F.S.			
	温度特性	±2%F.S. (25 °C基準)			
スイッチ出力	出力形式	NPN または PNP オープンコレクタ 1 出力または 2 出力			
	出力モード	ヒステリシスモード、ウインドコンパレータモード、エラー出力、スイッチ出力オフ			
	スイッチ動作	正転出力、反転出力			
	最大負荷電流	80 mA			
	最大印加電圧 (NPN のみ)	28 V			
	内部降下電圧 (残留電圧)	1 V 以下 (負荷電流 80 mA 時)			
	ディレー時間 ^{※1}	1.5 ms 以下 (チャタリング防止機能時: 20, 100, 500, 1000, 2000, 5000 ms 選択)			
	応差	ヒステリシスモード	0 から可変 ^{※2}		
		ウインドコンパレータモード			
	短絡保護		装備		
アナログ出力	電圧出力	出力形式	電圧出力: 1~5 V	電圧出力: 0.6~5 V	
		出力インピーダンス	約 1 kΩ		
	電流出力	出力形式	電流出力: 4~20 mA	電流出力: 2.4~20 mA	
		負荷インピーダンス	最大負荷インピーダンス 電源電圧 12 V 時: 300 Ω 電源電圧 24 V 時: 600 Ω 最小負荷インピーダンス 50 Ω		
オートシフト入力	入力形式	無電圧入力: 0.4 V 以下			
	入力モード	オートシフト、オートシフトゼロより選択			
	入力時間	5 ms 以上			

型式		ZSE20B (真空圧)	ZSE20BF (連成圧)	I SE20B (正圧)
表示	単位 ※3	MPa, kPa, kgf/cm ² , bar, psi, InHg, mmHg		MPa, kPa, kgf/cm ² , bar, psi
	表示方式	LCD		
	画面数	3 画面 (メイン画面、サブ画面×2)		
	表示色	1) メイン画面 : 赤/緑 2) サブ画面 : 橙		
	表示桁数	1) メイン画面 : 4 桁 7 セグメント 2) サブ画面 : 4 桁 (上位 1 桁 11 セグメント、その他 7 セグメント)		
	動作表示灯	スイッチ出力 ON 時点灯 OUT1、OUT2 : 橙		
デジタルフィルタ ※4		0, 10, 50, 100, 500, 1000, 5000 ms		
耐環境	保護等級	IP65		
	耐電圧	AC1000 V 1 分間 充電部一括と筐体間		
	絶縁抵抗	50 MΩ 以上 (DC500 V メガにて) 充電部一括と筐体間		
	使用温度範囲	動作時 : -5~50 °C、保存時 : -10~60 °C (結露および凍結しないこと)		
	使用湿度範囲	動作時・保存時 : 35~85%RH (結露しないこと)		
規格		UL/CSA (E216656)、CE/UKCA マーキング		
コネクタ付リード線長さ		2 m		

※1 : デジタルフィルタなし (0 ms) 時の値です。

※2 : 印加圧が設定値付近で変動する場合、変動幅以上の応差を設定しないとチャタリングが発生します。

※3 : 単位切換機能付の製品をご使用の場合に設定できます。単位切換機能なしの場合は MPa/kPa のみ選択となります。

※4 : ステップ入力に対する 90% 応答の時間です。

※5 : 品質向上に努めておりますが、性能上支障の無い外観の僅かなキズ、汚れ、表示色、輝度むら等は良品としております。

○配管仕様および質量

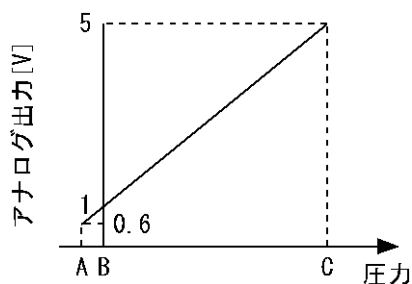
型式	M5	O1	N01	C4L	C6L	
管接続口径	M5×0.8	R1/8	NPT1/8	-	-	
管接続口径	ワンタッチ管継手 ストレートタイプ	-	-	-	-	
	ワンタッチ管継手 エルボタイプ	-	-	φ4 mm φ5/32 inch	φ6 mm	
接流体部 主材質	センサ受圧部	シリコン				
	配管ポート(共通)	PBT、CB156、耐熱PPS、Oリング：HNBR				
	配管ポート (M12コネクタタイプ)	PPS、Oリング：FKM				
	配管ポート	-	C3604(無電解ニッケルめっき)、SUS304、NBR		POM、SUS304、NBR、C3604	
質量	本体	24 g	34 g	36 g	30 g	30 g
	コネクタ付リード線	+39 g				
	M12コネクタタイプ	43 g	53 g	55 g	49 g	49 g

○ケーブル仕様

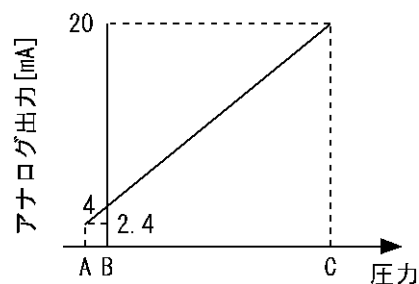
導体断面積	0.15 mm ² (AWG26)	
絶縁体	外径	1.0 mm
	色相	茶、青、黒、白、灰(5芯)
シース	仕上がり外径	φ3.5

○アナログ出力

電圧出力



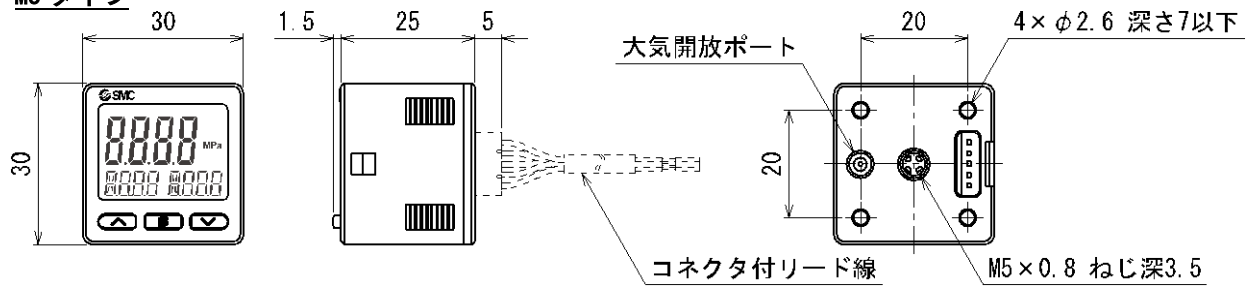
電流出力



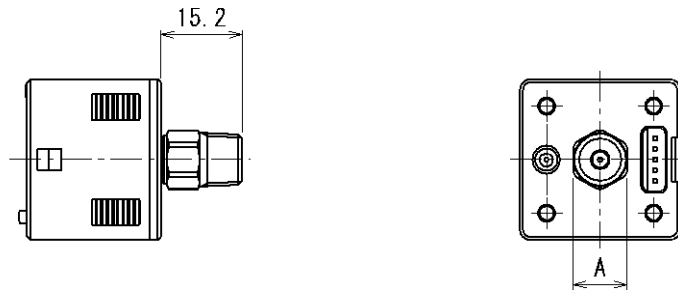
レンジ	定格圧力範囲	A	B	C
真空圧用	0.0~-101.0 kPa	-	0	-101 kPa
連成圧用	-100.0~100.0 kPa	-	-100 kPa	100 kPa
正圧用	-0.100~1.000 MPa	-0.1 MPa	0	1 MPa

■外形寸法図

M5タイプ

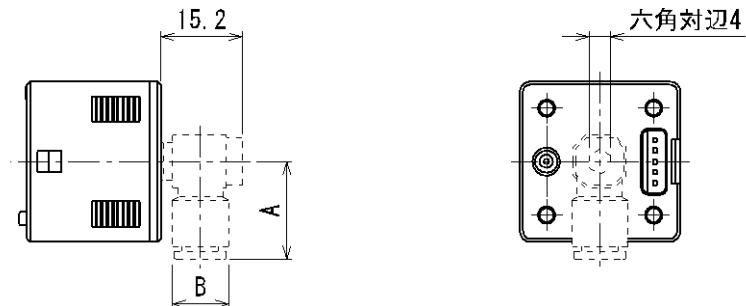


01/N01タイプ



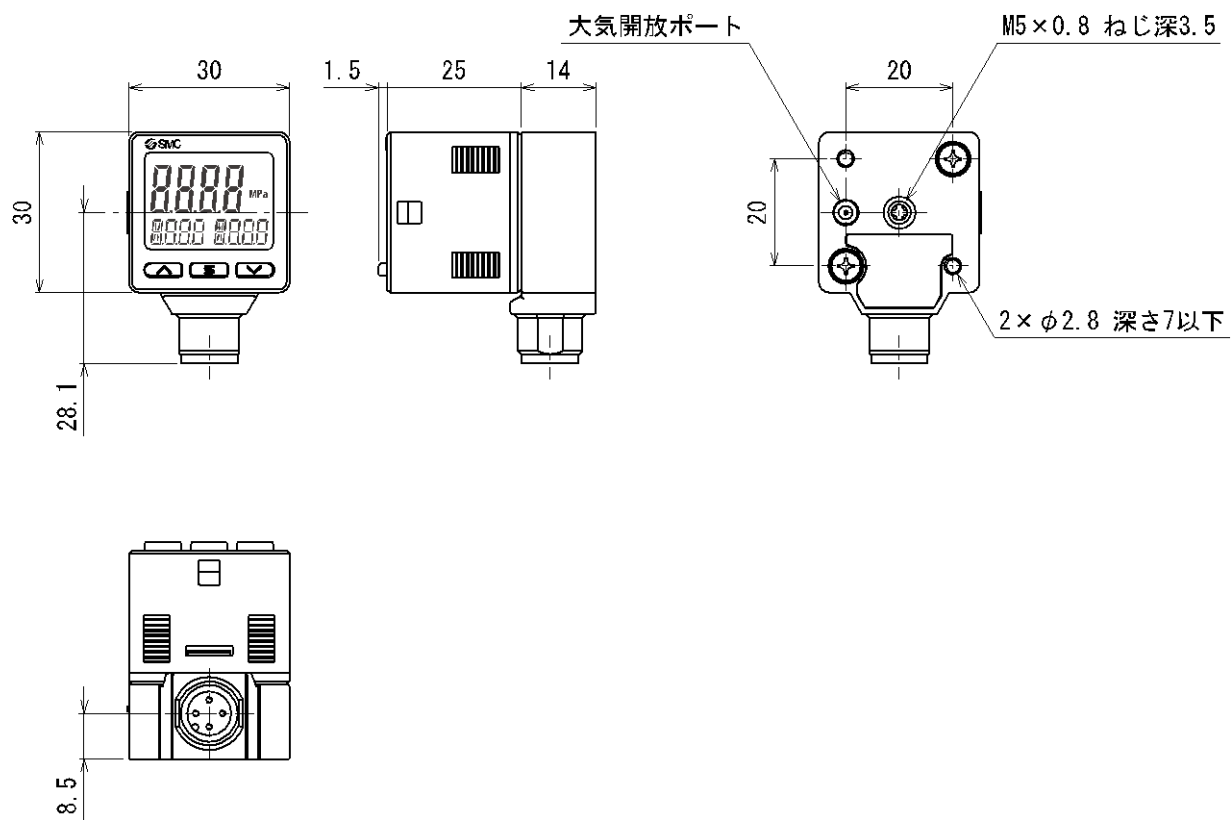
配管仕様	管接続口径	A
01	R1/8	六角対辺 10
N01	NPT1/8	六角対辺 12

C4L、C6Lタイプ



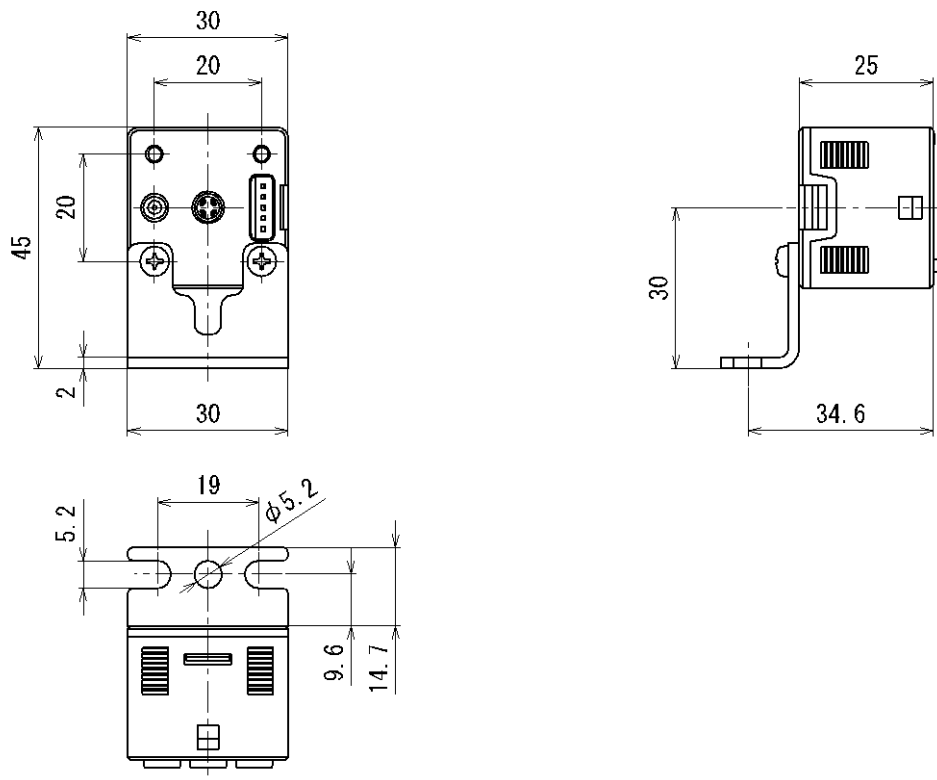
配管仕様	A	B
C4L	17.5	φ8.2
C6L	18.3	φ10.4

M12 コネクタタイプ

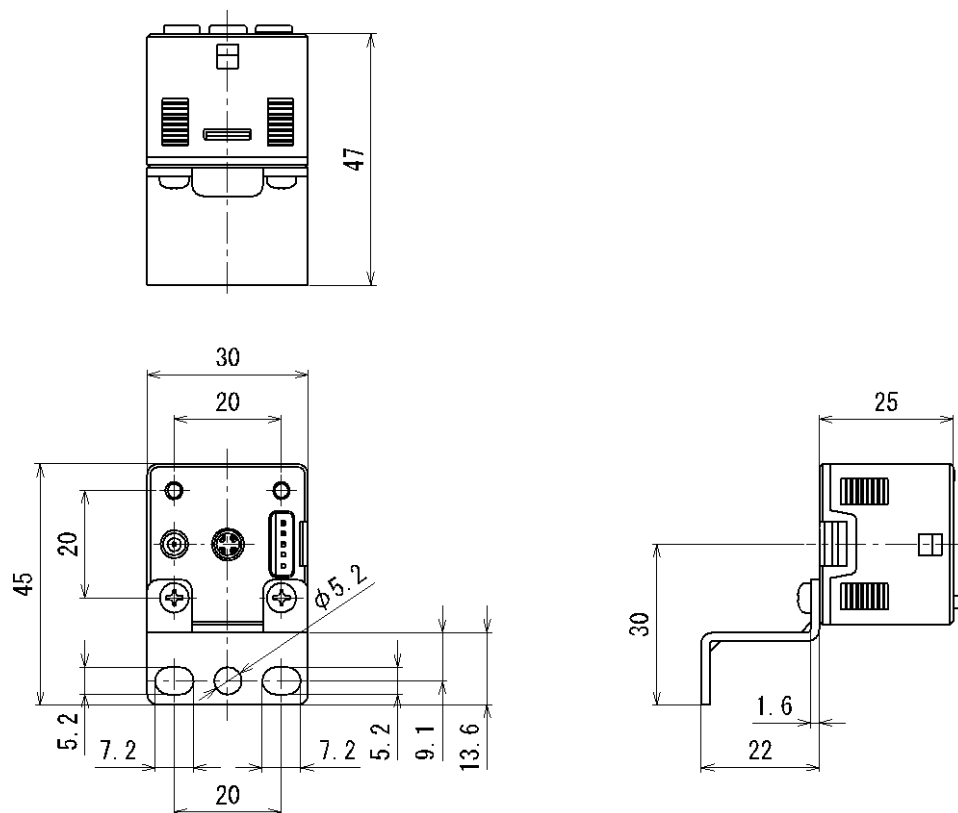


○ブラケット取付寸法

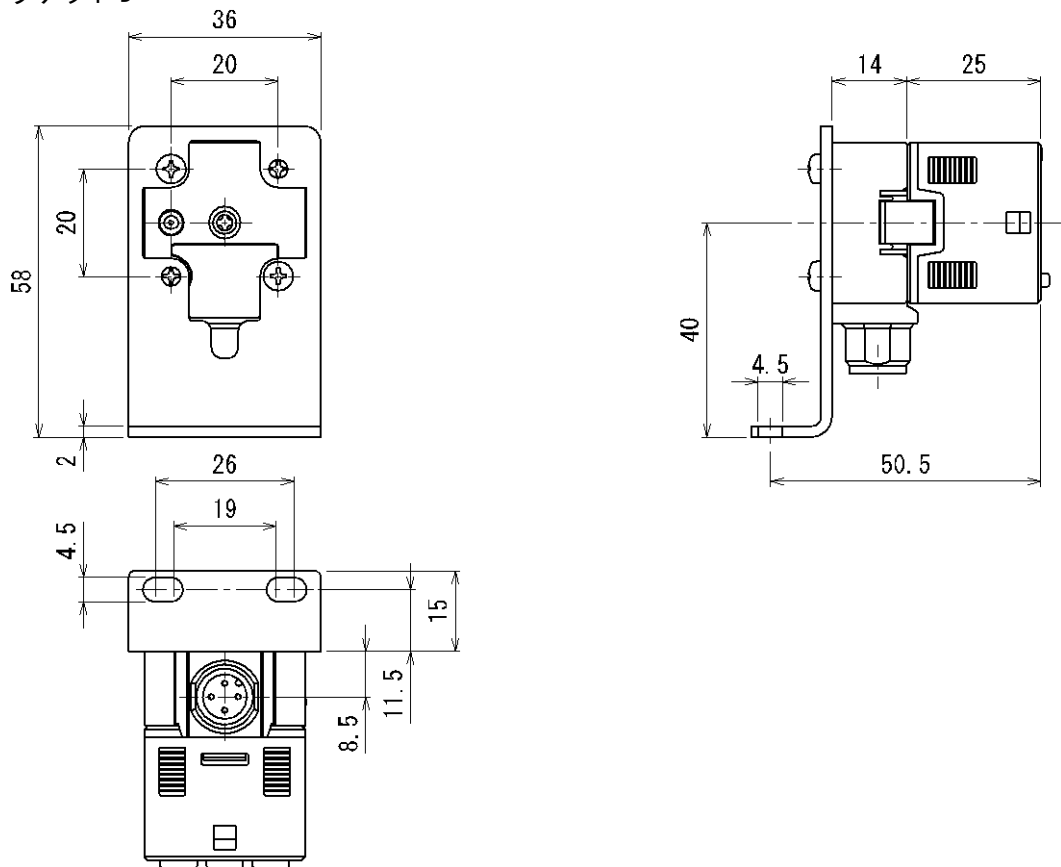
●ブラケット A



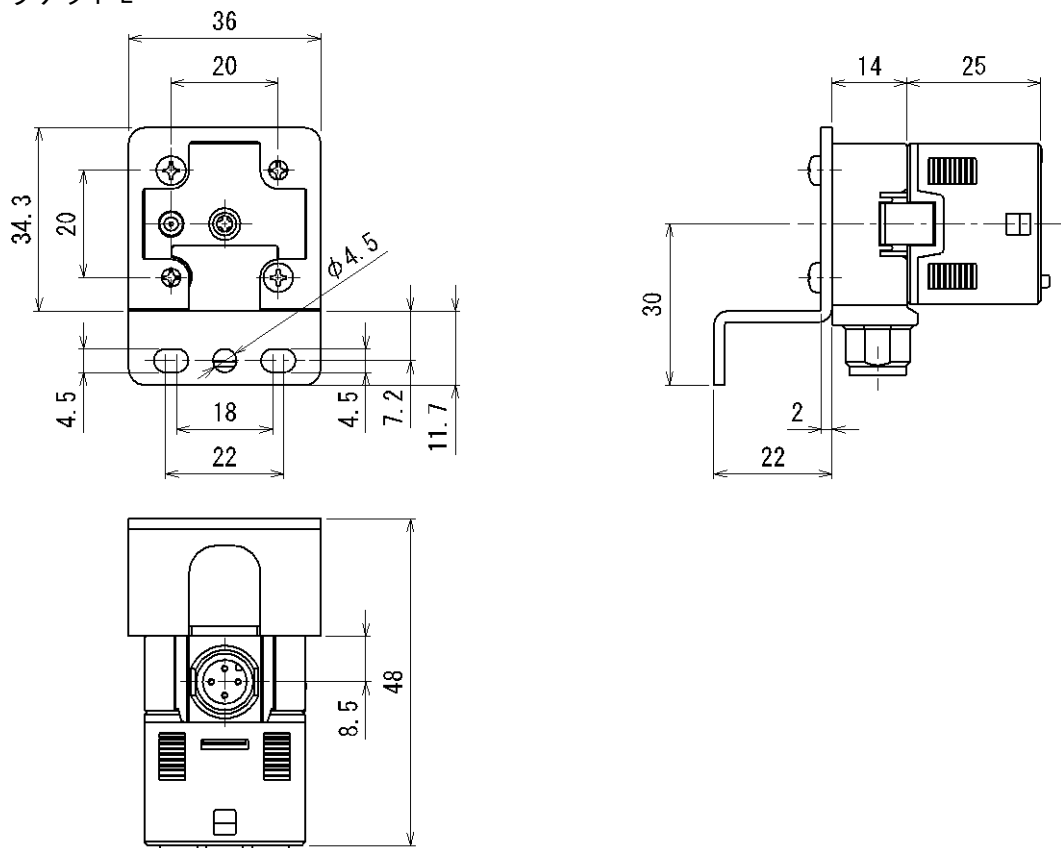
●ブラケット B



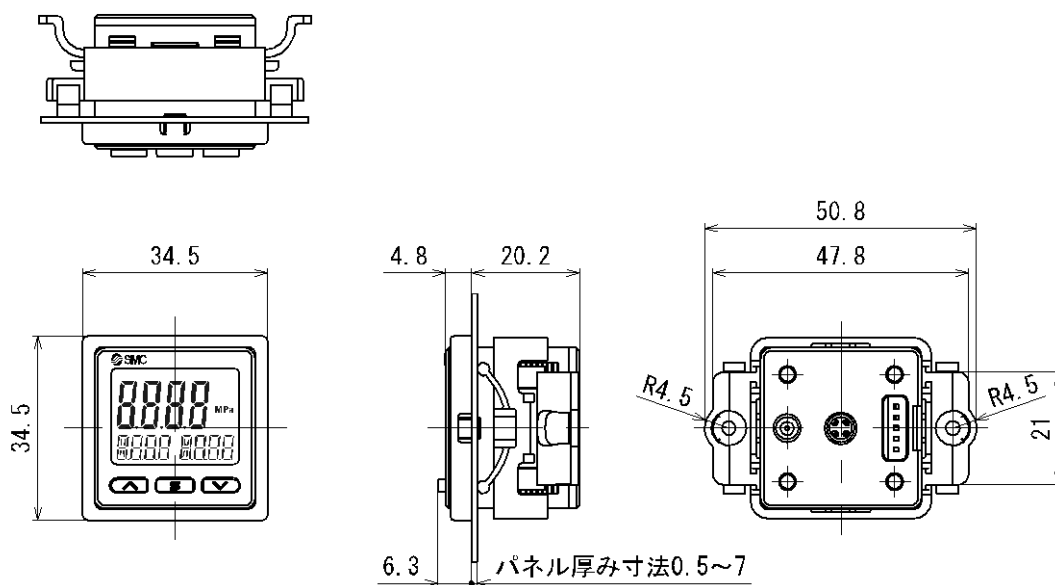
●ブラケット D



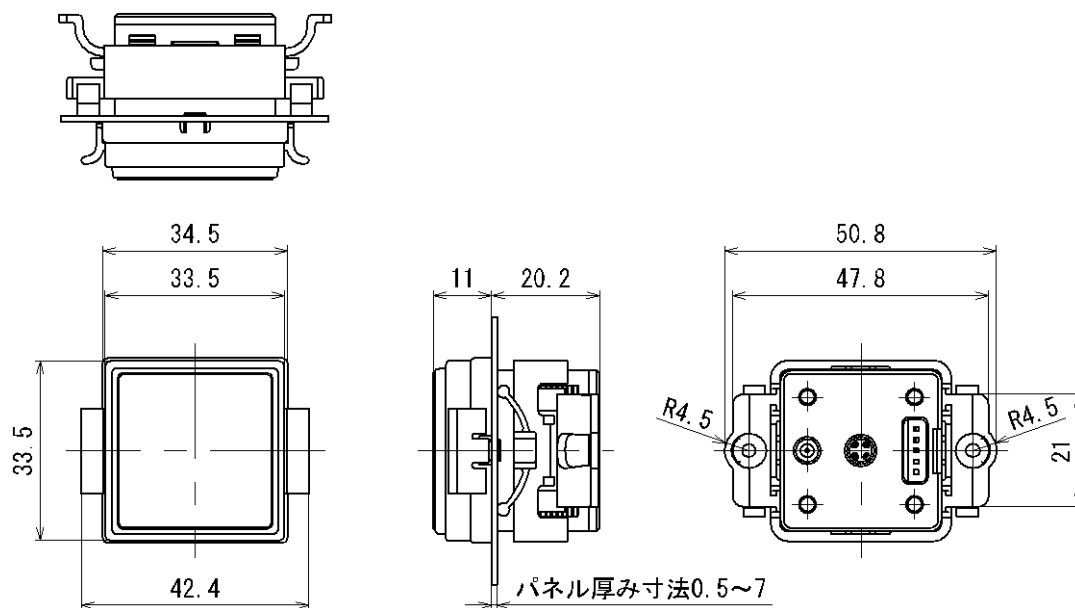
●ブラケット E



○パネルマウントアダプタ取付寸法

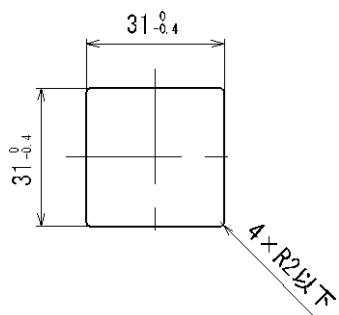


○パネルマウントアダプタ+前面保護カバー取付寸法



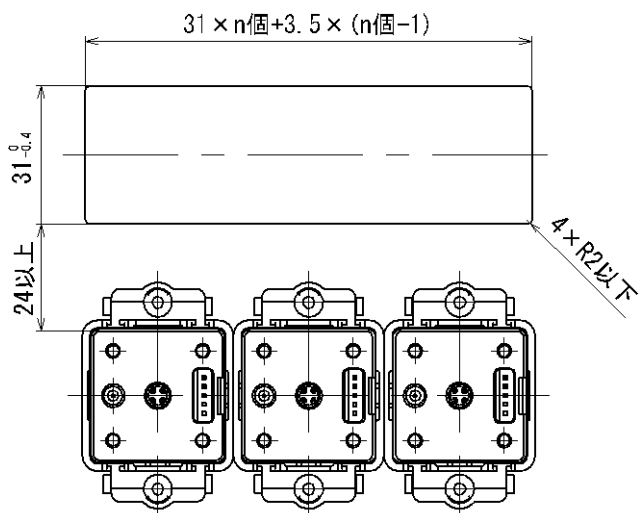
○パネルカット寸法

個別取付

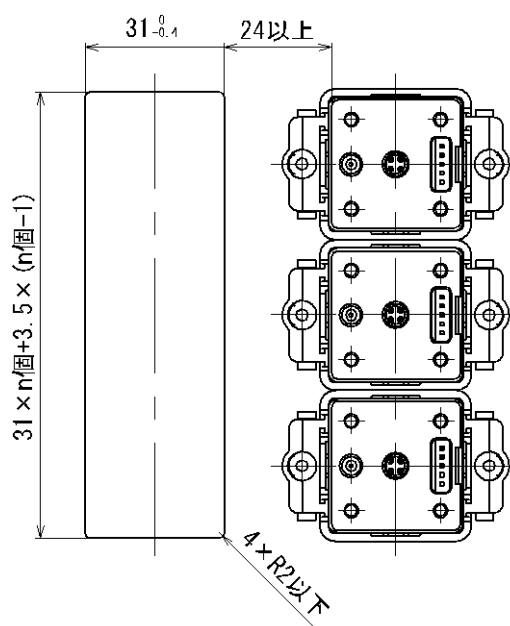


2ヶ以上 (n 個) 密着取付

<水平>



<垂直>



改訂履歴

A版：記載内容変更[2018年7月]
B版：記載内容変更[2020年2月]
C版：記載内容追加[2021年2月]
D版：記載内容変更[2022年2月]
E版：記載内容変更[2023年6月]
F版：記載内容追加[2023年11月]
G版：記載内容変更[2024年5月]
H版：記載内容変更[2024年8月]

SMC株式会社 お客様相談窓口

URL <https://www.smcworld.com>



0120-837-838

受付時間/9:00~12:00 13:00~17:00【月~金曜日、祝日、会社休日を除く】

⑨ この内容は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

© SMC Corporation All Rights Reserved



No. PS※※-0MU0005-H